

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第5905017号
(P5905017)

(45) 発行日 平成28年4月20日 (2016. 4. 20)

(24) 登録日 平成28年3月25日 (2016. 3. 25)

(51) Int. Cl. F I
G06F 13/00 (2006.01)
 G06F 13/00 560A
 G06F 13/00 520D

請求項の数 23 (全 42 頁)

(21) 出願番号	特願2013-537754 (P2013-537754)	(73) 特許権者	502208397
(86) (22) 出願日	平成23年10月31日 (2011. 10. 31)		グーグル インコーポレイテッド
(65) 公表番号	特表2013-544396 (P2013-544396A)		アメリカ合衆国 カリフォルニア州 94
(43) 公表日	平成25年12月12日 (2013. 12. 12)		043 マウンテン ビュー アンフィシ
(86) 国際出願番号	PCT/US2011/058668		アター パークウェイ 1600
(87) 国際公開番号	W02012/061327	(74) 代理人	100108453
(87) 国際公開日	平成24年5月10日 (2012. 5. 10)		弁理士 村山 靖彦
審査請求日	平成26年10月31日 (2014. 10. 31)	(74) 代理人	100064908
(31) 優先権主張番号	61/408, 811		弁理士 志賀 正武
(32) 優先日	平成22年11月1日 (2010. 11. 1)	(74) 代理人	100089037
(33) 優先権主張国	米国 (US)		弁理士 渡邊 隆
(31) 優先権主張番号	61/408, 732	(74) 代理人	100110364
(32) 優先日	平成22年11月1日 (2010. 11. 1)		弁理士 実広 信哉
(33) 優先権主張国	米国 (US)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ソーシャルネットワーク内でコンテンツを共有するためのコンテンツ共有インターフェース

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サーバーコンピューティングデバイスと、

前記サーバーコンピューティングデバイスに結合され、命令が格納されているコンピュータ可読記録媒体であって、前記命令は、前記サーバーコンピューティングデバイスによって実行されたときに、前記サーバーコンピューティングデバイスに、表示対象のデジタルコンテンツをネットワーク上に配信するサーバーサイドの動作を実行させる、コンピュータ可読記録媒体と

を備えるシステムであって、前記サーバーサイドの動作は、

少なくとも1つのウェブページドキュメントをユーザーによって操作されるクライアントコンピューティングデバイスに提供する段階であって、前記ウェブページドキュメントはブラウザアプリケーションにクライアントサイドの動作を実行させるための命令を含む、段階を含み、前記クライアントサイドの動作は、

ウェブページ内に、第1のソーシャルネットワーキングサービスのコンテンツ共有インターフェースのグラフィカル表現を提示する段階であって、前記グラフィカル表現はユーザー入力にตอบสนองする少なくとも1つのボタンアイコンを含む、段階と、

前記ボタンアイコンへの第1のユーザー入力を受信する段階と、

前記第1のユーザー入力にตอบสนองして、前記ウェブページ内の前記コンテンツ共有インターフェースを、拡大したコンテンツ入力領域および配信インターフェースを含むように拡大する段階であって、前記拡大されたコンテンツ入力領域は配信されるデジタルコン

10

20

テンツのグラフィカル表現を表示する、段階と、

前記配信インターフェースへの第2のユーザー入力を受信する段階であって、前記第2のユーザー入力は前記デジタルコンテンツの配信先となる1つまたは複数の連絡先を指示する、段階と、

前記第2のユーザー入力を受信したことに応答して、前記配信インターフェース内に1つまたは複数のアイコンを表示する段階であって、前記1つまたは複数のアイコンのうちのそれぞれのアイコンは前記1つまたは複数の連絡先のグラフィカル表現である、段階と、

前記コンテンツ共有インターフェースへの第3のユーザー入力を受信する段階であって、前記第3のユーザー入力は前記デジタルコンテンツを配信するためのユーザー命令を含む、段階と、

前記第3のユーザー入力に応答して、投稿データセットを前記システムに送信する段階であって、前記投稿データセットはデジタルコンテンツデータおよび配信データを含む、段階とを含む、システム。

【請求項2】

前記1つまたは複数のアイコンのうちの1つのアイコンは、ソーシャルネットワーキングサービス内の前記ユーザーのソーシャルサークルに対応し、前記ソーシャルサークルは前記1つまたは複数の連絡先の部分集合を定める請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

前記1つまたは複数のアイコンのうちの1つのアイコンは、前記ユーザーが参加する第2のソーシャルネットワーキングサービスに対応する請求項1に記載のシステム。

【請求項4】

前記第2のソーシャルネットワーキングサービスは、マイクロブロギングソーシャルネットワーキングサービスを含む請求項3に記載のシステム。

【請求項5】

前記第2のソーシャルネットワーキングサービスは、ブロギングサービスを含む請求項3に記載のシステム。

【請求項6】

前記1つまたは複数のアイコンのうちの1つのアイコンは、電子メール経由で前記デジタルコンテンツを受信する少なくとも1つの連絡先に対応する請求項1に記載のシステム。

【請求項7】

前記クライアントサイドの動作は、前記ウェブページ内にウェブページデジタルコンテンツを表示する段階をさらに含み、前記コンテンツ共有インターフェースは、前記拡大されたコンテンツ入力領域内に前記ウェブページデジタルコンテンツのサマリーを表示する請求項1に記載のシステム。

【請求項8】

前記クライアントサイドの動作は、前記拡大されたコンテンツ選択領域内に1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンを表示する段階をさらに含む請求項1に記載のシステム。

【請求項9】

前記クライアントサイドの動作は、

第4のユーザー入力を受信する段階であって、前記第4のユーザー入力は前記1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンのうちの1つのアイコンの選択を指示する、段階と、

前記第4のユーザー入力を受信したことに応答して、ユーザーが配信に追加のデジタルコンテンツを選択することができるデジタルコンテンツ選択インターフェースを表示する段階と

をさらに含む請求項8に記載のシステム。

【請求項10】

10

20

30

40

50

前記1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンは、デジタル画像選択アイコン、デジタル動画選択アイコン、リンク選択アイコン、および地図選択アイコンを含む請求項8に記載のシステム。

【請求項 1 1】

前記1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンは、前記第1のユーザー入力を受信する前に前記コンテンツ共有インターフェースに表示される請求項8に記載のシステム。

【請求項 1 2】

前記クライアントサイドの動作は、

第4のユーザー入力を受信する段階であって、前記第4のユーザー入力は前記ボタンアイコンの上のホバリングアクションを指示する、段階と、

前記第4のユーザー入力にตอบสนองして、ダイアログボックスを表示する段階であって、前記ダイアログボックスは前記デジタルコンテンツを共有した連絡先に対応するデータを表示する、段階と

をさらに含む請求項1に記載のシステム。

【請求項 1 3】

前記第1のユーザー入力は、前記ボタンアイコンのユーザー選択を含む請求項12に記載のシステム。

【請求項 1 4】

前記ウェブページは、検索結果ページを含み、前記ボタンアイコンは、前記ウェブページ内に表示される検索結果に関連付けられる請求項1に記載のシステム。

【請求項 1 5】

前記ウェブページは、地図表示サービスウェブページを含み、前記デジタルコンテンツは、地図を含む請求項1に記載のシステム。

【請求項 1 6】

前記投稿データセットは、前記地図の地図ビューに対応するスクロールデータおよびズームデータを含む地図データをさらに含み、前記スクロールデータおよび前記ズームデータは前記地図ビューを複製するために前記地図表示サービスウェブページによって使用可能である請求項15に記載のシステム。

【請求項 1 7】

前記サーバーサイドの動作は、

前記投稿データセットを受信する段階と、

前記配信データに基づきアクセス制御リスト(ACL)を生成する段階であって、前記配信データは前記1つまたは複数の連絡先に対応する、段階と、

前記ACLに基づき前記デジタルコンテンツを配信する段階と

をさらに含む請求項1に記載のシステム。

【請求項 1 8】

前記ウェブページは、前記ソーシャルネットワーキングサービスのウェブページを含む請求項1に記載のシステム。

【請求項 1 9】

複数のウェブページのそれぞれは、前記ソーシャルネットワーキングサービスのウェブページを含む請求項1に記載のシステム。

【請求項 2 0】

前記ウェブページは、前記ソーシャルネットワーキングサービスのドメインの外部にあるウェブサイトのウェブページを含む請求項1に記載のシステム。

【請求項 2 1】

コンピュータプログラムで符号化されたコンピュータ記憶媒体であって、前記プログラムは命令を含み、前記命令は、1つまたは複数のコンピュータによって実行されたときに、前記1つまたは複数のコンピュータに、

ウェブページ内に、第1のソーシャルネットワーキングサービスのコンテンツ共有イン

10

20

30

40

50

ターフェースのグラフィカル表現を提示する段階であって、前記グラフィカル表現はユーザー入力にตอบสนองする少なくとも1つのボタンアイコンを含む、段階と、

前記ボタンアイコンへの第1のユーザー入力を受信する段階と、

前記第1のユーザー入力にตอบสนองして、前記ウェブページ内の前記コンテンツ共有インターフェースを、拡大したコンテンツ入力領域および配信インターフェースを含むように拡大する段階であって、前記拡大されたコンテンツ入力領域は配信されるデジタルコンテンツのグラフィカル表現を表示する、段階と、

前記配信インターフェースへの第2のユーザー入力を受信する段階であって、前記第2のユーザー入力は前記デジタルコンテンツの配信先となる1つまたは複数の連絡先を指示する、段階と、

10

前記第2のユーザー入力を受信したことにตอบสนองして、前記配信インターフェース内に1つまたは複数のアイコンを表示する段階であって、前記1つまたは複数のアイコンのうちのそれぞれのアイコンは前記1つまたは複数の連絡先のグラフィカル表現である、段階と、

前記コンテンツ共有インターフェースへの第3のユーザー入力を受信する段階であって、前記第3のユーザー入力は前記デジタルコンテンツを配信するためのユーザー命令を含む、段階と、

前記第3のユーザー入力にตอบสนองして、投稿データセットをサーバーコンピューティングシステムに送信する段階であって、前記投稿データセットはデジタルコンテンツデータおよび配信データを含む、段階と

を含む動作を実行させる、コンピュータプログラムで符号化されたコンピュータ記憶媒体

20

【請求項 2 2】

ウェブページ内に、第1のソーシャルネットワーキングサービスのコンテンツ共有インターフェースのグラフィカル表現を提示する段階であって、前記グラフィカル表現はユーザー入力にตอบสนองする少なくとも1つのボタンアイコンを含む、段階と、

前記ボタンアイコンへの第1のユーザー入力を受信する段階と、

前記第1のユーザー入力にตอบสนองして、前記ウェブページ内の前記コンテンツ共有インターフェースを、拡大したコンテンツ入力領域および配信インターフェースを含むように拡大する段階であって、前記拡大されたコンテンツ入力領域は配信されるデジタルコンテンツのグラフィカル表現を表示する、段階と、

30

前記配信インターフェースへの第2のユーザー入力を受信する段階であって、前記第2のユーザー入力は前記デジタルコンテンツの配信先となる1つまたは複数の連絡先を指示する、段階と、

前記第2のユーザー入力を受信したことにตอบสนองして、前記配信インターフェース内に1つまたは複数のアイコンを表示する段階であって、前記1つまたは複数のアイコンのうちのそれぞれのアイコンは前記1つまたは複数の連絡先のグラフィカル表現である、段階と、

前記コンテンツ共有インターフェースへの第3のユーザー入力を受信する段階であって、前記第3のユーザー入力は前記デジタルコンテンツを配信するためのユーザー命令を含む、段階と、

前記第3のユーザー入力にตอบสนองして、投稿データセットをサーバーコンピューティングシステムに送信する段階であって、前記投稿データセットはデジタルコンテンツデータおよび配信データを含む、段階と

40

を含むコンピュータ実装方法。

【請求項 2 3】

サーバーコンピューティングデバイスと、

前記サーバーコンピューティングデバイスに結合され、命令が格納されているコンピュータ可読記録媒体であって、前記命令は、前記サーバーコンピューティングデバイスによって実行されたときに、前記サーバーコンピューティングデバイスに、表示対象のデジタルコンテンツをネットワーク上に配信するサーバーサイドの動作を実行させる、コンピュータ可読記録媒体と

50

を備えるシステムであって、前記サーバーサイドの動作は、

少なくとも1つのウェブページドキュメントをユーザーによって操作されるクライアントコンピューティングデバイスに提供する段階であって、前記ウェブページドキュメントはブラウザアプリケーションにクライアントサイドの動作を実行させるための命令を含む、段階を含み、前記クライアントサイドの動作は、

ウェブページ内にウェブページデジタルコンテンツを表示する段階と、

前記ウェブページ内に、ソーシャルネットワーキングサービスのコンテンツ共有インターフェースのグラフィカル表現を表示する段階であって、前記グラフィカル表現はユーザー入力に応答する少なくとも1つのボタンアイコンを含む、段階と、

前記ボタンアイコンへの第1のユーザー入力を受信する段階であって、前記第1のユーザー入力はウェブページデジタルコンテンツに関連付けられているデジタルコンテンツを配信するユーザーの意図を示す、段階と、

前記第1のユーザー入力を受信したことに応答して、前記ウェブページ内の前記コンテンツ共有インターフェースを、拡大したコンテンツ入力領域および配信インターフェースを含むように拡大する段階であって、前記拡大されたコンテンツ入力領域は前記ウェブページデジタルコンテンツのサマリーとして提供される前記デジタルコンテンツを表示する、段階と、

前記配信インターフェースを通じて第2のユーザー入力を受信する段階であって、前記第2のユーザー入力は1つまたは複数のソーシャルサークルを指示し、それぞれのソーシャルサークルは前記デジタルコンテンツの配信先となる1つまたは複数の連絡先を含む、段階と、

前記第2のユーザー入力を受信したことに応答して、前記配信インターフェース内に1つまたは複数のアイコンを表示する段階であって、前記1つまたは複数のアイコンのうちのそれぞれのアイコンは前記1つまたは複数のソーシャルサークルのグラフィカル表現である、段階と、

前記コンテンツ共有インターフェースへの第3のユーザー入力を受信する段階であって、前記第3のユーザー入力は前記デジタルコンテンツを配信するためのユーザー命令を含む、段階と、

前記第3のユーザー入力に反応して、投稿データセットを前記システムに送信する段階であって、前記投稿データセットはデジタルコンテンツデータおよび配信データを含む、段階とを含む、システム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

関連出願の相互参照

本出願は、2010年11月1日に提出した米国出願第61/408,732号および2010年11月1日に提出した米国出願第61/408,811号の優先権を主張するものであり、それらの開示が参照により本明細書に組み込まれている。

【0002】

本明細書は、一般に、コンピュータで実行されるソーシャルネットワーキングサービスを使用してデジタルコンテンツを共有するためのシステムおよび方法に関する。

【背景技術】

【0003】

インターネットなどの通信ネットワークへの有線接続およびワイヤレス接続が広く利用できるようになったことにより、携帯電話および携帯情報端末などのコンピュータおよびモバイルデバイスが次第に相互接続されるようになってきた。ARPANETの最も初期の頃でも、ユーザーは、そのような相互接続性を利用し、初期形態の電子メールを通じて互いに通信し合っていた。電子メールが利用しやすくなり、普及するにつれ、電子メール「リスト」が、受信者の予め定められているグループにメッセージをブロードキャストするため

10

20

30

40

50

の人気ツールとなった。

【 0 0 0 4 】

1980年代、ユーザーがさまざまな定義済みのカテゴリを中心に展開する議論のスレッドを読み、それに返信することが可能なインターネットベースの「ニュースグループ」が登場した。ニュースグループは、一般に、ニュースグループにアクセスできる機器を所有する者であれば誰でも読むことができ、また更新することができるが、それは、ニュースグループへのアクセスが、一般的に、ニュースグループ毎、またはユーザー毎に制限されていないからである。ワールドワイドウェブベースの議論グループ(すなわち、クラブとも称される)も、ある1つの話題を中心としてつながる人々のグループのための手段となった。ウェブサーバプログラミングを使用することによって、ディスカッショングループとディスカッションスレッドの考え方が拡大され、これにより、ユーザーは、場合によっては他のユーザーがディスカッションを管理する安全なディスカッションフォーラムを購読できるようになった。

10

【 0 0 0 5 】

インターネットベースのコミュニケーションフォーラムの別の変更形態として、ウェブベースの「ソーシャルネットワーク」アプリケーションがあり、そこでは、多数のユーザー同士が、お互いのアカウントを見つけて、自発的に、互いの投稿メッセージの「友達」または「フォロワー」となる。ユーザーは、一般に、自分の状況、気分、活動などに関する簡単なメッセージを投稿し、友達とフォロワーがそれらのメッセージを読み、返信したければそれらのメッセージに返信することができる。したがって、友達同士が互いの活動について常に把握していることができ、これは社会的結合を維持するためのツールとなっている。

20

【 0 0 0 6 】

いくつかのソーシャルネットワークは、ソーシャルネットワークを出入りする情報を共有するためのツールを提供する。例えば、いくつかのソーシャルネットワーキングウェブサイトでは、サードパーティのウェブページに組み込むことができるボタンを備える。ユーザーがそのボタンを押すと、情報は、ソーシャルネットワーキングウェブサイトを送り返され、ボタンを押したのが誰であり、そのボタンがどのページに配置されていたのかを指示する。そのような例では、ユーザーのソーシャルネットワーキングピアは、サードパーティのウェブページ上でユーザーの活動を通知されうる。

30

【発明の概要】

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 7 】

概して、本開示で説明されている主題の革新的態様は、複数のウェブページのうちの1つのウェブページ内に、第1のソーシャルネットワーキングサービスのコンテンツ共有インターフェースのグラフィカル表現を表示するアクションであって、コンテンツ共有インターフェースはユーザー入力を受信することができるコンテンツ入力領域を含む、アクションと、コンテンツ入力領域への第1のユーザー入力を受信するアクションと、第1のユーザー入力に応答して、ウェブページ内のコンテンツ共有インターフェースを、拡大されたコンテンツ入力領域および配信インターフェースを含むように拡大するアクションであって、拡大されたコンテンツ入力領域は配信されるデジタルコンテンツのグラフィカル表現を表示する、アクションと、配信インターフェースへの第2のユーザー入力を受信するアクションであって、第2のユーザー入力はデジタルコンテンツの配信先となる1つまたは複数の連絡先を指示する、アクションと、第2のユーザー入力を受信したことに応答して、配信インターフェース内に1つまたは複数のアイコンを表示するアクションであって、1つまたは複数のアイコンのうちのそれぞれのアイコンは1つまたは複数の連絡先のグラフィカル表現である、アクションと、コンテンツ共有インターフェースへの第3のユーザー入力を受信するアクションであって、第3のユーザー入力はデジタルコンテンツを配信するためのユーザー命令を含む、アクションと、第3のユーザー入力に応答して、投稿データセットをサーバコンピューティングシステムに送信するアクションであって、投稿デー

40

50

タセットはデジタルコンテンツデータおよび配信データを含む、アクションとを含む方法で具現化されうる。これらの態様の他の実装形態は、対応するシステム、装置、およびこれらの方法のアクションを実行するように構成され、コンピュータ記憶デバイスにおいて符号化されたコンピュータプログラムを含む。

【0008】

これらおよび他の実装形態はそれぞれ、以下の特徴のうちの1つまたは複数を適宜含むうる。例えば、1つまたは複数のアイコンのうちの1つのアイコンは、ソーシャルネットワークサービス内のユーザーのソーシャルサークルに対応し、ソーシャルサークルは1つまたは複数の連絡先の部分集合を定め、1つまたは複数のアイコンのうちの1つのアイコンは、ユーザーが参加する第2のソーシャルネットワークサービスに対応し、第2のソーシャルネットワークサービスは、マイクロブロギング(micro-blogging)ソーシャルネットワークサービスを含み、第2のソーシャルネットワークサービスは、ブロギングサービスを含み、1つまたは複数のアイコンのうちの1つのアイコンは、電子メール経由でデジタルコンテンツを受信する少なくとも1つの連絡先に対応し、アクションは、ウェブページ内にウェブページデジタルコンテンツを表示する段階をさらに含み、コンテンツ共有インターフェースは、拡大されたコンテンツ入力領域内にウェブページデジタルコンテンツのサマリーを表示し、サマリーは、デジタルコンテンツの発信元への要求に回答して提供され、この要求は第1のユーザー入力に回答して生成され、アクションは、拡大されたコンテンツ選択領域内に1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンを表示する段階をさらに含み、アクションは、第4のユーザー入力を受信する段階であって、第4のユーザー入力は1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンのうちの1つのアイコンの選択を指示する、段階と、第4のユーザー入力を受信したことに対応して、ユーザーが配信に追加のデジタルコンテンツを選択することができるデジタルコンテンツ選択インターフェースを表示する段階とをさらに含み、1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンは、デジタル画像選択アイコン、デジタル動画選択アイコン、リンク選択アイコン、および地図選択アイコンを含み、1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンが、第1のユーザー入力を受信する前にコンテンツ共有インターフェースに表示され、ウェブページは、地図表示サービスウェブページを含み、デジタルコンテンツは、地図を含み、投稿データセットは、地図の地図ビューに対応するスクロールデータおよびズームデータを含む地図データをさらに含み、スクロールデータおよびズームデータは地図ビューを複製するために地図表示サービスウェブページによって使用可能であり、アクションは、投稿データセットを受信する段階と、配信データに基づきアクセス制御リスト(ACL)を生成する段階であって、配信データは1つまたは複数の連絡先に対応する、段階と、ACLに基づきデジタルコンテンツを配信する段階とをさらに含み、第1のユーザー入力は、コンテンツ入力領域内でのクリックを含み、ウェブページは、ソーシャルネットワークサービスのウェブページを含み、複数のウェブページのそれぞれは、インターネットベースのソーシャルネットワークサービスのウェブページを含み、ウェブページは、ソーシャルネットワークサービスのドメインの外部にあるウェブサイトのウェブページを含み、コンテンツ共有インターフェースは、ウェブページのツールバー内に設けられる。

【0009】

本開示において説明される発明対象の革新的態様は、デジタルコンテンツの配信を指示するユーザー入力を受信するアクションであって、配信はデジタルコンテンツの配信先となる1つまたは複数の連絡先を指示する、アクションと、1つまたは複数のポリシーに基づき配信を処理するアクションであって、1つまたは複数のポリシーのそれぞれは処理に基づきデジタルコンテンツの配信に制限を課す、アクションと、配信が1つまたは複数のポリシーのうちの少なくとも1つのポリシーに違反していると判定するアクションと、この判定に回答して、通知データを送信して配信が少なくとも1つのポリシーに違反していることを示す通知をユーザーに対して表示するアクションとを含む方法で具現化されうる。これらの態様の他の実装形態は、対応するシステム、装置、およびこれらの方法のアクションを実行するように構成され、コンピュータ記憶デバイスにおいて符号化されたコンピ

10

20

30

40

50

ユータブプログラムを含む。

【0010】

これらおよび他の実装形態はそれぞれ、以下の特徴のうちの1つまたは複数を適宜含むうる。例えば、アクションは、アイコンデータを送信してアイコンを配信のグラフィカル表現としてユーザーに対して表示する段階であって、通知はアイコンの属性を含む、段階をさらに含み、属性は、アイコンの色を含み、通知は、配信が1つまたは複数の非ドメイン連絡先を含むことを示す指示を含み、1つまたは複数の非ドメイン連絡先のそれぞれは、ソーシャルネットワーキングサービスのドメインの外部のユーザーの連絡先を含み、ユーザー入力は、電子メールアドレスを含み、電子メールアドレスは、ソーシャルネットワーキングサービスのドメインの外部のドメインに対応し、アクションは、通知に対応するユーザー入力を受信する段階と、通知に対応するユーザー入力を受信したことに応答して、ダイアログボックスデータを送信してダイアログボックスをユーザーに対して表示する段階とをさらに含み、ダイアログボックスは、配信が1つまたは複数の非ドメイン連絡先を含むことを示すテキストを含み、1つまたは複数の非ドメイン連絡先のそれぞれは、ソーシャルネットワーキングサービスのドメインの外部のユーザーの連絡先を含み、通知に対応するユーザー入力は、通知の上でのホバリングアクションを含み、アクションは、配信に基づきデジタルコンテンツを配信するコマンドを指示するユーザー入力を受信する段階と、配信するコマンドを指示するユーザー入力を受信したことに応答して、確認ダイアログデータを送信して確認ダイアログをユーザーに対して表示する段階とをさらに含み、確認ダイアログは、デジタルコンテンツの配信の結果、ソーシャルネットワーキングサービスのドメインの外部の1つまたは複数のドメインにデジタルコンテンツが配信されることをユーザーに知らせ、アクションは、確認ダイアログに送られるユーザー入力を受信する段階であって、ユーザー入力は配信に基づきデジタルコンテンツを配信する第2のコマンドを指示する、段階と、ユーザー入力を受信したことに応答して、配信に基づきデジタルコンテンツを配信する段階とをさらに含み、ポリシーは、年齢ポリシーを含み、年齢ポリシーは、未成年と判定された配信の1つまたは複数の連絡先へのデジタルコンテンツの配信を禁止することを含む。

【0011】

本開示において説明される発明対象の革新的態様は、ウェブページ内に、第1のソーシャルネットワーキングサービスのコンテンツ共有インターフェースのグラフィカル表現を提示するアクションであって、グラフィカル表現はユーザー入力に応答する少なくとも1つのボタンアイコンを含む、アクションと、第1のユーザー入力をボタンアイコンに受信するアクションと、第1のユーザー入力に応答して、ウェブページ内のコンテンツ共有インターフェースを、拡大したコンテンツ入力領域および配信インターフェースを含むように拡大するアクションであって、拡大されたコンテンツ入力領域は配信されるデジタルコンテンツのグラフィカル表現を表示する、アクションと、第2のユーザー入力を配信インターフェースに受信するアクションであって、第2のユーザー入力はデジタルコンテンツの配信先となる1つまたは複数の連絡先を指示する、アクションと、第2のユーザー入力を受信したことに応答して、配信インターフェース内に1つまたは複数のアイコンを表示するアクションであって、1つまたは複数のアイコンのうちのそれぞれのアイコンは1つまたは複数の連絡先のグラフィカル表現である、アクションと、第3のユーザー入力をコンテンツ共有インターフェースに受信するアクションであって、第3のユーザー入力はデジタルコンテンツを配信するためのユーザー命令を含む、アクションと、第3のユーザー入力に応答して、投稿データセットをサーバーコンピューティングシステムに送信するアクションであって、投稿データセットはデジタルコンテンツデータおよび配信データを含む、アクションとを含む方法で具現化されうる。これらの態様の他の実装形態は、対応するシステム、装置、およびこれらの方法のアクションを実行するように構成され、コンピュータ記憶デバイスにおいて符号化されたコンピュータプログラムを含む。

【0012】

これらおよび他の実装形態はそれぞれ、以下の特徴のうちの1つまたは複数を適宜含む

10

20

30

40

50

うる。例えば、1つまたは複数のアイコンのうちの1つのアイコンは、ソーシャルネットワークサービス内のユーザーのソーシャルサークルに対応し、ソーシャルサークルは1つまたは複数の連絡先の部分集合を定め、1つまたは複数のアイコンのうちの1つのアイコンは、ユーザーが参加する第2のソーシャルネットワークサービスに対応し、第2のソーシャルネットワークサービスは、マイクロブローキングソーシャルネットワークサービスを含み、第2のソーシャルネットワークサービスは、ブローキングサービスを含み、1つまたは複数のアイコンのうちの1つのアイコンは、電子メール経由でデジタルコンテンツを受信する少なくとも1つの連絡先に対応し、アクションは、ウェブページ内にウェブページデジタルコンテンツを表示する段階をさらに含み、コンテンツ共有インターフェースは、拡大されたコンテンツ入力領域内にウェブページデジタルコンテンツのサムリーを表示し、アクションは、拡大されたコンテンツ選択領域内に1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンを表示する段階をさらに含み、アクションは、第4のユーザー入力を受信する段階であって、第4のユーザー入力は1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンのうちの1つのアイコンの選択を指示する、段階と、第4のユーザー入力を受信したことに応答して、ユーザーが配信に追加のデジタルコンテンツを選択することができるデジタルコンテンツ選択インターフェースを表示する段階とをさらに含み、1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンは、デジタル画像選択アイコン、デジタル動画選択アイコン、リンク選択アイコン、および地図選択アイコンを含み、1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンが、第1のユーザー入力を受信する前にコンテンツ共有インターフェースに表示され、アクションは、第4のユーザー入力を受信する段階であって、第4のユーザー入力はボタンアイコンの上のホバリングアクションを指示する、段階と、第4のユーザー入力に応答して、ダイアログボックスを表示する段階であって、ダイアログボックスはデジタルコンテンツを共有した連絡先に対応するデータを表示する、段階とをさらに含み、第1のユーザー入力は、ボタンアイコンのユーザー選択を含み、ウェブページは、検索結果ウェブページを含み、ボタンアイコンは、ウェブページ内に表示される検索結果に関連付けられ、ウェブページは、地図表示サービスウェブページを含み、デジタルコンテンツは、地図を含み、投稿データセットは、地図の地図ビューに対応するスクロールデータおよびズームデータを含む地図データをさらに含み、スクロールデータおよびズームデータは地図ビューを複製するために地図表示サービスウェブページによって使用可能であり、アクションは、投稿データセットを受信する段階と、配信データに基づきアクセス制御リスト(ACL)を生成する段階であって、配信データは1つまたは複数の連絡先に対応する、段階と、ACLに基づきデジタルコンテンツを配信する段階とをさらに含み、ウェブページは、ソーシャルネットワークサービスのウェブページを含み、複数のウェブページのそれぞれは、ソーシャルネットワークサービスのウェブページを含み、ウェブページは、ソーシャルネットワークサービスのドメインの外部にあるウェブサイトのウェブページを含む。

【0013】

本開示において説明される発明対象の革新的態様は、ソーシャルネットワークサービスのコンテンツ共有インターフェースのグラフィカル表現をディスプレイ上に提示するアクションと、第1のユーザー入力をコンテンツ共有インターフェースに受信するアクションと、第1のユーザー入力に応答して、コンテンツ共有インターフェースを、拡大したコンテンツ入力領域および配信インターフェースを含むように拡大するアクションであって、拡大されたコンテンツ入力領域は配信されるデジタルコンテンツのグラフィカル表現を表示する、アクションと、第2のユーザー入力を配信インターフェースに受信するアクションであって、第2のユーザー入力はデジタルコンテンツの配信先となる1つまたは複数の連絡先を指示する、アクションと、第2のユーザー入力を受信したことに応答して、配信インターフェース内に1つまたは複数のアイコンを表示するアクションであって、1つまたは複数のアイコンのうちのそれぞれのアイコンは1つまたは複数の連絡先のグラフィカル表現である、アクションと、第3のユーザー入力をコンテンツ共有インターフェースに受信するアクションであって、第3のユーザー入力はデジタルコンテンツを配信するため

10

20

30

40

50

のユーザー命令を含む、アクションと、第3のユーザー入力に応答して、投稿データセットをサーバーコンピューティングシステムに送信するアクションであって、投稿データセットはデジタルコンテンツデータおよび配信データを含む、アクションとを含む方法で具現化される。これらの態様の他の実装形態は、対応するシステム、装置、およびこれらの方法のアクションを実行するように構成され、コンピュータ記憶デバイスにおいて符号化されたコンピュータプログラムを含む。

【0014】

これらおよび他の実装形態はそれぞれ、以下の特徴のうちの1つまたは複数を適宜含むうる。例えば、1つまたは複数のアイコンのうちの1つのアイコンは、ソーシャルネットワークサービス内のユーザーのソーシャルサークルに対応し、ソーシャルサークルは1つまたは複数の連絡先の部分集合を定め、1つまたは複数のアイコンのうちの1つのアイコンは、ユーザーが参加する第2のソーシャルネットワークサービスに対応し、第2のソーシャルネットワークサービスは、マイクロブログソーシャルネットワークサービスを含み、第2のソーシャルネットワークサービスは、ブログサービスを含み、1つまたは複数のアイコンのうちの1つのアイコンは、電子メール経由でデジタルコンテンツを受信する少なくとも1つの連絡先に対応し、アクションは、ウェブページ内にウェブページデジタルコンテンツを表示する段階をさらに含み、コンテンツ共有インターフェースは、拡大されたコンテンツ入力領域内にウェブページデジタルコンテンツのサマリーを表示し、アクションは、拡大されたコンテンツ選択領域内に1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンを表示する段階をさらに含み、アクションは、第4のユーザー入力を受信する段階であって、第4のユーザー入力は1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンのうちの1つのアイコンの選択を指示する、段階と、第4のユーザー入力を受信したことに応答して、ユーザーが配信に追加のデジタルコンテンツを選択することができるデジタルコンテンツ選択インターフェースを表示する段階とをさらに含み、1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンは、デジタル画像選択アイコン、デジタル動画選択アイコン、リンク選択アイコン、および地図選択アイコンを含み、1つまたは複数のデジタルコンテンツ選択アイコンは、第1のユーザー入力を受信する前にコンテンツ共有インターフェースに表示され、コンテンツ共有インターフェースのグラフィカル表現は、クライアントコンピューティングデバイスのデスクトップディスプレイ上に表示され、コンテンツ共有インターフェースのグラフィカル表現は、クライアントコンピューティングデバイス上で実行されるウェブブラウザアプリケーション内にツールバーとして表示される。

【0015】

本明細書で説明されている発明対象の1つまたは複数の実装形態の詳細は、付属の図面および以下の説明で述べられる。発明対象の他の潜在力のある特徴、態様、および利点は、説明、図面、および請求項から明らかになるであろう。

【図面の簡単な説明】

【0016】

【図1】本開示の実装形態を実行することができる例示的なシステムを示す図である。

【図2A】本開示の実装形態による例示的なコンテンツ共有インターフェースを示す図である。

【図2B】本開示の実装形態による例示的なコンテンツ共有インターフェースを示す図である。

【図2C】本開示の実装形態による例示的なコンテンツ共有インターフェースを示す図である。

【図2D】本開示の実装形態による例示的なコンテンツ共有インターフェースを示す図である。

【図3A】本開示の実装形態による別の例示的なコンテンツ共有インターフェースを示す図である。

【図3B】本開示の実装形態による別の例示的なコンテンツ共有インターフェースを示す

10

20

30

40

50

図である。

【図 4 A】本開示の実装形態による別の例示的なコンテンツ共有インターフェースを示す図である。

【図 4 B】本開示の実装形態による別の例示的なコンテンツ共有インターフェースを示す図である。

【図 4 C】本開示の実装形態による別の例示的なコンテンツ共有インターフェースを示す図である。

【図 4 D】本開示の実装形態による別の例示的なコンテンツ共有インターフェースを示す図である。

【図 5 A】図 4A ~ 4D の例示的なコンテンツ共有インターフェースの一実装形態を示す図である。

10

【図 5 B】図 4A ~ 4D の例示的なコンテンツ共有インターフェースの一実装形態を示す図である。

【図 6 A】例示的なコンテンツ共有インターフェースを含むソーシャルネットワーキングサービスのユーザー向けの例示的な stream ページのスクリーンショットである。

【図 6 B】例示的なコンテンツ共有インターフェースを含むソーシャルネットワーキングサービスのユーザー向けの例示的な stream ページのスクリーンショットである。

【図 7】例示的なコンテンツ共有インターフェースを含む例示的なウェブページのスクリーンショットである。

【図 8】例示的なコンテンツ共有インターフェースを含む例示的な地図ページのスクリーンショットである。

20

【図 9】コンテンツを共有するための例示的なプロセスを示す流れ図である。

【図 10 A】ドメインポリシーを強制する際のアクセス制御リスト (ACL) サービスの例示的な出力を示す図である。

【図 10 B】ドメインポリシーを強制する際のアクセス制御リスト (ACL) サービスの例示的な出力を示す図である。

【図 11】ドメインポリシーを強制する際のアクセス制御リスト (ACL) サービスの例示的な出力を示す図である。

【図 12】ポリシーを強制するための例示的なプロセスを示す流れ図である。

【発明を実施するための形態】

30

【0017】

類似の参照番号は、全体を通して対応する部分を表す。

【0018】

一般に、本開示の実装形態は、デジタルコンテンツの配信を定めるために使用することができるコンテンツ共有インターフェースを対象とする。本明細書で使用されているように、共有ユーザーは、ネットワーク(例えば、インターネット)上の他のユーザーとデジタルコンテンツを共有するコンピューティングデバイスのユーザーを含むものとしてよい。本明細書で使用されているように、受信ユーザーは、共有ユーザーによって共有されるデジタルコンテンツを受信するユーザーを含むことができる。受信ユーザーは、1つまたは複数の文脈において共有ユーザーに関連付けることができる。いくつかの実装形態では、受信ユーザーと共有ユーザーは、ソーシャルネットワーキングサービス内で互いの連絡先とすることができる。いくつかの実装形態では、受信ユーザーは、電子メールサービス内の共有ユーザーの連絡先であるユーザーとすることができる。

40

【0019】

本明細書でさらに詳しく説明されているような、コンテンツ共有インターフェースは、さまざまな形態のデジタルコンテンツ(例えば、ユニフォームリソースインジケータ (URI)、ハイパーリンク、地図、画像、動画、ファイル、ソーシャルネットワークの投稿、オンライン記事、ブログ)に関連して備えられる。ユーザーは、コンテンツ共有インターフェースをインタラクティブに操作して、インターフェースに関連付けられているコンテンツ、またはそのコンテンツに関するコメントをソーシャルネットワーキングサービス内の連

50

絡先、および/またはソーシャルネットワーキングサービスの外部の連絡先に対して投稿することを望んでいることを指示することができる。

【 0 0 2 0 】

図1は、例示的なネットワークアーキテクチャ100の図である。ネットワークアーキテクチャ100は、ネットワーク114によってサーバーシステム112に通信可能に接続された多数のクライアントデバイス102~110を備える。サーバーシステム112は、1つまたは複数の処理デバイス116および1つまたは複数のデータストア118を備える。処理デバイス116は、(例えば、ソーシャルネットワークサーバーの)機能を実行するためにデータストア118に格納されるコンピュータ命令(例えば、ソーシャルネットワークのコンピュータプログラムコード)を実行する。

10

【 0 0 2 1 】

クライアントデバイス102~110の多数のユーザー120a~120eは、それぞれ、ソーシャルネットワーキングサービスに参加するためにサーバーシステム112にアクセスする。例えば、クライアントデバイス102~110は、ソーシャルネットワーキングサービスにアクセスするために使用できるウェブブラウザアプリケーションを実行することができる。別の例では、クライアントデバイス102~110は、ソーシャルネットワークに特有のソフトウェアアプリケーション(例えば、スマートフォン上で実行されるソーシャルネットワーキング「アプリ」)を実行することができる。

【 0 0 2 2 】

ユーザー120a~120eは、テキストコメント(例えば、更新、お知らせ、返信)、デジタル画像、動画、検索結果、他のデジタルコンテンツへのリンク(例えば、デジタル動画および/またはデジタル画像にリンクするユニフォームリソースロケータ(URL))、および/または他の適切なデジタルコンテンツなどの情報を投稿することによってサーバーシステム112が提供するソーシャルネットワーキングサービスに参加することができる。いくつかの実装形態において、ユーザーに代わって、ソーシャルネットワークまたはサーバーシステム112の外部のシステムおよび/またはサービスが情報を投稿することもできる。例えば、ユーザー120aは、動画のレビューを動画レビューサイトに投稿することができ、適切な許可があれば、サイト側がユーザー120aに代わってそのレビューをソーシャルネットワークにクロスポストすることができる。別の例では、適切な許可を有する、モバイルデバイス上で実行されているソフトウェアアプリケーションが、全世界測位システム(GPS)機能を使用してユーザーの位置を特定し、ソーシャルネットワークをユーザーの位置で(例えば、「At Home (自宅で)」、「At Work (職場で)」、「In Brownsdale, MN (MN州のBrownsdaleで)」)自動的に更新することができる。

20

30

【 0 0 2 3 】

クライアントデバイス102~110をインタラクティブに操作するユーザー120a~120eは、サーバーシステム112が提供するソーシャルネットワークを使用して、他のユーザーに対する関係を整理し、分類するようにソーシャルサークルを定めることもできる。このような関係は、ソーシャルサークルを使用して定めることができる。いくつかの実装形態では、ソーシャルネットワーキングサービスによって、ユーザーは、連絡先を1つまたは複数のソーシャルサークルにグループ化することができ、これはユーザーと他のユーザーとの関係の分類に基づくものとしてよい、この関係は、暗示的または明示的とすることができる。例えば、ソーシャルネットワーキングサービスの文脈内で、ユーザーは、連絡先を1つまたは複数のソーシャルサークルに割り当てて、ソーシャルネットワーキング投稿および/または他のデジタルコンテンツの配信および表示非表示設定をうまく制御することができる。いくつかの実装形態では、ソーシャルサークルは、コンピュータで実行されるソーシャルネットワーキングサービスのユーザーに関連付けられている連絡先のコレクションを定めるデータセットとして構成される。一般に、ソーシャルサークルは、社会的に相互結合されている人々の特定のコレクションの中心である個人の観点から、または社会的に相互結合されている人々のコレクションの総体的観点から記述されうる。ソーシャルサークルは、狭義の境界を有することができ、ソーシャルサークルのメンバー全員が互いを

40

50

熟知し合っており、ソーシャルサークルに加入するには、メンバーとして許可が必要になることがある。例えば、ソーシャルネットワークサービスユーザーは、ソーシャルサークルを定め、ソーシャルサークルは、連絡先のコレクションを定めるデータセットとして、ユーザーの現実の生活におけるソーシャルサークルを反映するものとしてよい。

【0024】

ソーシャルネットワークサービスのユーザーは、ソーシャルネットワークピアと情報を共有することを望む場合がある。しかし、ユーザーは、自分のソーシャルネットワークピア同士の間でそのような情報の配信を制御することを望む場合もある。例えば、情報を投稿するときにそのプライバシーに関して懸念するユーザーもいる。そのようなユーザーは、個人的活動に関する投稿が専門ソーシャルサークルから制限された状態を保つことを望むことがある。例えば、ユーザーは、自分のソフトボールチームの写真を「friends (友達)」および「softball team (ソフトボールチーム)」ソーシャルサークルに投稿するが、「co-workers (同僚)」ソーシャルサークルには投稿しえない。他のユーザーは、自分の連絡先の実質的に選択された部分集合のみに届くように投稿する情報をターゲットにすることを望むことがある。例えば、ユーザーは、実質的に「family (家族)」ソーシャルサークルにのみ家族のお知らせを投稿することを望むか、または実質的に「politics (政治)」ソーシャルサークルにのみ政治的コメントを投稿することを望んでいる場合がある。

【0025】

いくつかの実装形態では、クライアントデバイス102~110は、ラップトップもしくはデスクトップコンピュータ、スマートフォン、携帯情報端末、ポータブルメディアプレーヤー、タブレットコンピュータ、または電子ソーシャルネットワークと通信するために使用される他の適切なコンピューティングデバイスなどのコンピューティングデバイスとすることができる。いくつかの実装形態では、サーバーシステム112は、コンピュータサーバーなどの単一のコンピューティングデバイスを備えることができる。いくつかの実装形態では、サーバーシステム112は、サーバーコンピュータのアクション(例えば、クラウドコンピューティング)を実行するために連携動作する複数のコンピューティングデバイスを示すものとしてよい。いくつかの実装形態では、ネットワーク114は、公衆通信網(例えば、インターネット、セルラーデータネットワーク、電話網を介するダイヤルアップモデム)または専用通信網(例えば、プライベートLAN、専用回線)とすることができる。

【0026】

図2A~2Dは、本開示の実装形態による例示的なコンテンツ共有インターフェース200を示している。本明細書でさらに詳しく説明されるように、コンテンツ共有インターフェース200は、ソーシャルネットワークサービス内の(例えば、コンテンツ共有インターフェース200はソーシャルネットワークサービスのウェブサイトのウェブページ内に表示される)、および/またはソーシャルネットワークサービスの外部の(例えば、コンテンツ共有インターフェース200は、ソーシャルネットワークサービスに直接関連付けられていないウェブサイトのウェブページ内に表示される)ソーシャルネットワークサービスのユーザーに提示されうる。

【0027】

コンテンツ共有インターフェース200によって、ユーザーは、デジタルコンテンツを定義済みの一組の受信者に配信するためにデジタルコンテンツを投稿することができる。いくつかの実装形態では、投稿は、ユーザーによって生成され、基礎となる投稿データセットを含むことができる。投稿データセットは、デジタルコンテンツおよび識別された受信者に関連付けられたデータを含むことができる。いくつかの実装形態では、投稿データセットは、デジタルコンテンツ、タイムスタンプデータ(例えば、投稿が生成された時刻を示すタイムスタンプ)、配信データ(例えば、連絡先、1つまたは複数のソーシャルサークルなど)、ならびに識別(ID)データ(例えば、投稿の生成後に投稿データセットに割り当てられるID)を含むことができる。いくつかの実装形態では、配信データは、デジタルコンテンツの配信を指定するアクセス制御リスト(ACL)を提供するように処理される(ソ

10

20

30

40

50

ーシャルネットワーキングサービス内の、またはソーシャルネットワーキングサービスを有しない連絡先にデジタルコンテンツへのアクセスを許可する)。

【0028】

いくつかの実装形態では、配信ハブは、バックエンドサービスとして提供されうる(例えば、図1のサーバーシステム112によって提供される)。いくつかの実装形態では、ACLサービスは、配信ハブを提供し、配信されるデジタルコンテンツの表示非表示設定を強制するために実行されうる。いくつかの例において、ACLサービスは、1つまたは複数のサーバーシステムによって実行されうる1つまたは複数のコンピュータプログラムアプリケーションとして提供されうる。ACLサービスは、ACLを生成することができ、ACLに基づき投稿データセットの配信先となるエンドポイントを決定することができる。いくつかの実装形態では、デジタルコンテンツにアクセスするか、または他の何らかの方法でデジタルコンテンツを受信することを許可された連絡先は、ACLに基づき決定される。投稿データセットのIDは、ACLサービスでユーザー/ビューインデックス毎に書き込まれうる。特定のユーザーに配信する投稿をフェッチしたときに、ユーザー/ビューインデックスがアクセスされ、ユーザーが表示を許可されているさまざまな投稿のIDが決定される。投稿データセットは、データストア(例えば、図1のデータストア118)から取り出され、その特定のユーザーに関連付けられているクライアントコンピューティングデバイス上に表示するために送信される。

10

【0029】

本開示の実装形態では、デジタルコンテンツの配信は、1つまたは複数のソーシャルサークルに基づいて定めることができる。本明細書で使用されているように、配信は、ソーシャルネットワーキングサービスを使用してデジタルコンテンツを配信する配信先となる1つまたは複数の連絡先のリストを含むことができる。いくつかの例において、配信は、1つの下位配信を含む(例えば、デジタルコンテンツの配信に対して1つのソーシャルサークルが識別される)。いくつかの例において、配信は、複数の下位配信を含む。いくつかの実装形態では、下位配信は、特定のソーシャルサークルのメンバーでない、および/または基盤となっているソーシャルネットワーキングサービスのユーザーでない連絡先を含むことができる。

20

【0030】

コンテンツ共有インターフェース200は、コンテンツ領域204内で提供するデジタルコンテンツに関連付けられている配信インターフェース202を含む。さまざまな実施形態において、デジタルコンテンツは、ユニフォームリソースインジケータ(URI)、ウェブページ、ウェブページのサブセクション、メディア再生インターフェース、ハイパーリンク、ソーシャルネットワーク投稿(例えば、テキスト)、オンライン地図、オンライン地図上の位置、デジタル画像、デジタル動画、検索結果、および/または電子ユーザーインターフェース(UI)において表現することができる他の適切な項目または情報とすることができる。

30

【0031】

配信インターフェース202は、連絡先入力領域206を備える。以下でさらに詳しく説明されるように、ユーザーは、連絡先入力領域206に入力する識別子をタイプするか、または他の何らかの方法で選択することができる。これらの識別子は、デジタルコンテンツの配信(例えば、ソーシャルネットワークサービスを通じて)を定めるために他のユーザー、ユーザーのカテゴリ、および/またはソーシャルサークルを識別する。いくつかの実装形態では、これらの識別子は、連絡先識別子、ソーシャルサークル識別子、電子メールアドレス、またはコンテンツの共有相手となる1人または複数の人を識別するために使用されうる他の適切な識別子を含むことができる。連絡先入力領域206内に与えられる識別子は、コンテンツ領域204内に与えられるデジタルコンテンツの配信を定めるACLを生成するために使用される。

40

【0032】

次に、図2Bを参照すると、例示的な識別子アイコン208が配信インターフェース202内に用意されていることがわかる。識別子アイコン208は、デジタルコンテンツの共有相手と

50

なる1人または複数のユーザーの視覚的表現である。図2Bの例では、ユーザーは、コンテンツ領域204内のデジタルコンテンツが「friends」ソーシャルサークルのメンバーと共有されることを暫定的に指示している。投稿がコミットされるまで、以下でさらに詳しく説明されているように、識別子アイコンは、デジタルコンテンツの仮配信を提供する。例えば、図2Bの例を続けると、ユーザーは、削除コントロール210をアクティブ化して(例えば、クリックして)、連絡先入力領域206から識別子アイコン208を削除することができる。

【0033】

次に図2Cおよび2Dを参照すると、メニュー213が、ユーザー入力に応答して提示されうる。いくつかの実装形態では、ユーザーは、連絡先入力領域206を選択する(例えば、クリックする)ことができ、メニュー213は、この選択に応答して表示される。いくつかの実装形態では、ユーザーは、連絡先入力領域206にテキストを入力することができ、メニュー213は、この入力に応答して表示される。いくつかの実装形態では、ユーザーは、追加コントロール214およびメニュー213を選択する(例えば、クリックする)ことができ、メニュー213は、この選択に応答して表示される。図2Cに示されている例において、メニュー213は、複数の領域を備える。メニュー領域220には、ユーザーが選択することができるソーシャルサークル222のコレクションが表示される。ソーシャルサークルは、ソーシャルネットワークサービスを使用してユーザーが定めたソーシャルサークルを含むことができる。いくつかの実装形態では、ソーシャルサークル222のコレクションは、ユーザーの最も一般的にターゲットとするソーシャルサークルの部分集合および/またはユーザーの最も人数の多いソーシャルサークルの部分集合を含むことができる。ユーザーコントロール224は、ユーザーによって管理される追加のソーシャルサークルを表示するために選択することができる。リストに載っているソーシャルサークルから1つのソーシャルサークルを選択する(例えば、クリックする)ことによって、対応する識別子アイコン208を連絡先入力領域206内に表示することができる。

【0034】

メニュー領域230は、ユーザーがコンテンツの配信先として選択することができるコレクション非サークル特有の連絡先グループを提示する。例えば、「My circles (私のサークル)」を選択することによって、ユーザーは、ユーザーのソーシャルサークルのどれかに入っている誰かとデジタルコンテンツを共有することを選択することができる。「Extended Circles (拡大サークル)」を選択することによって、ユーザーは、ユーザーの拡張ネットワーク内の誰かとデジタルコンテンツを共有することを選択することができる(例えば、友達の友達、パブリックソーシャルサークルをユーザーと共有する他のユーザー)。「Anyone (すべての人)」を選択することによって、ユーザーは、インターネット上の誰か(例えば、一般市民)とデジタルコンテンツを共有することを選択することができる。メニュー領域230から選択(例えば、クリック)を行うことによって、対応する識別子アイコン208を連絡先入力領域206内に表示することができる。いくつかの例において、メニュー領域230は、ユーザーがデジタルコンテンツの共有先とすることができる、1つまたは複数のドメインを含むことができる。図示されている例では、ドメイン「Domain」が提供されている。例示的なドメインは、インターネットベースのサービスプロバイダ(例えば、Google Inc.)のドメインを含むものとしてよい。1つまたは複数のドメインが、配信インターフェースにおいて識別され、デジタルコンテンツは、指定されたドメインと相互にやり取りするすべてのユーザーと共有されうる。

【0035】

メニュー領域240は、ユーザーの最近使用した配信リストのコレクションを提示する。いくつかの実装形態では、メニュー領域240は、表示されなくてもよい。例えば、新規ユーザーは、以前にコンテンツ共有インターフェース200を決して使用していることはありえず、したがって、選択するすでに使用されている配信リストを有しえない。ユーザーがコンテンツ共有インターフェース200を使用すると、メニュー領域240に表示される項目の数は、最近使用された配信リストの所定の数まで増大しうる。

【0036】

10

20

30

40

50

図2Dを特に参照すると、メニュー213で利用可能な選択は、連絡先入力領域206内に入力されたテキストに基づき適合されることがわかる。図示されている例では、ユーザーは、フリー形式テキスト250を連絡先入力領域206内に文字「f」(フリー形式テキスト250として)の形態で入力することを開始している。この入力にตอบสนองして、メニュー領域260は、「family」ソーシャルサークル262、および「Francisco Franco」連絡先264などの、文字「f」のユーザーの入力に対応しうる複数のターゲットを提案するように適合される。いくつかの実装形態では、別のソーシャルネットワークサービスのユーザーをターゲットとすることもできる。例えば、「Friendworks (Rob McDavies)」連絡先266は、別のソーシャルネットワークサービスサービスのユーザーをターゲットとするために提示されうる。

【0037】

いくつかの実装形態では、ユーザーは、デジタルコンテンツが電子メール経由で連絡先に配信されることを指示することができる。いくつかの例において、ソーシャルネットワークサービスを通じてデジタルコンテンツを共有する代わりに、またはそれに加えて、電子メール経由でデジタルコンテンツを共有することもできる。いくつかの実装形態では、ユーザーは、配信インターフェース(例えば、配信インターフェース202)に用意される識別子アイコン(例えば、識別子アイコン208)をインタラクティブに操作して、関連付けられているデジタルコンテンツを電子メール経由で共有することを命令するユーザー入力を与えることができる。いくつかの例において、ユーザーのインタラクティブな操作は、識別子アイコンの上でホバリングするアクションを含むことができ(例えば、ポインタを使用して)、このホバリングアクションにตอบสนองして、特定の識別子アイコンに関連付けられているメニューを表示することができる。メニューは、特定のアイコン識別子に関連付けられているか、または他の何らかの方法で表される連絡先が電子メール経由でデジタルコンテンツを受信することを指示するメニューオプションを備えることができる。

【0038】

ユーザーが配信を定めることを済ませ、その配信に満足した後、ユーザーは、投稿をコミットすることができる。いくつかの実装形態では、共有ボタン212が備えられる。ユーザーは、共有ボタン212をアクティブ化して(例えば、クリックして)、投稿をコミットすることができる。投稿をコミットすると、上で説明されているように、投稿データセットを生成し、デジタルコンテンツを識別されたユーザーに配信する動作を実行することができる。

【0039】

図3Aおよび3Bは、本開示の実装形態による別の例示的なコンテンツ共有インターフェース300を示している。図3Aを参照すると、コンテンツ共有インターフェース300は、コンテンツ入力領域305を備えることがわかる。いくつかの実装形態では、コンテンツ入力領域305は、図2A~2Dのコンテンツ領域204とすることができる。いくつかの実装形態では、ユーザーは、コンテンツ入力領域305を選択して、配信対象のデジタルコンテンツを入力および/または選択することができる。例えば、ポインタ310を使用して、コンテンツ入力領域305をインタラクティブに操作し(例えば、クリックし)、コンテンツ共有インターフェース300のインタラクティブな操作を開始することができる。例えば、ユーザーは、コンテンツ入力領域305をクリックして、コンテンツ入力領域305のインタラクティブな操作の一部としてテキスト入力を開始することができる。

【0040】

いくつかの実装形態では、ユーザーは、アイコン315、320、325、330を選択して、配信すべきデジタルコンテンツの入力および/または選択を開始することができる。図示されている実装形態では、例えば、ユーザーは、アイコン315を選択して、配信すべきデジタル画像(例えば、コンピュータ可読メモリ内に格納されている)を選択するプロセスを開始することができる。例えば、ユーザーがアイコン315をクリックすると、このクリックにตอบสนองして、ユーザーがデジタル画像ファイルをアップロードする、すでにアップロードされているデジタル画像ファイルを選択する、および/またはインターネット上の別の場所で見つけたデジタル画像に対応するURLを提供することが可能になりうるユーザーインタ

10

20

30

40

50

ーフェースが提示されうる。いくつかの実装形態では、デジタル画像ファイルが識別された後、デジタル画像のサムネイルおよび/または画像に関する情報(例えば、アドレス、ファイル名、キャプション、タイトル、サイズ、撮影日)が、コンテンツ入力領域305内に表示されうる。

【0041】

図示されている実装形態では、例えば、ユーザーは、アイコン320を選択して、配信すべきデジタル動画(例えば、コンピュータ可読メモリ内に格納されている)を選択することができる。例えば、ユーザーがアイコン320をクリックすると、このクリックに応答して、ユーザーがデジタル動画ファイルをアップロードする、すでにアップロードされているデジタル動画ファイルを選択する、および/またはインターネット上の別の場所で見つけたデジタル動画ファイルに対応するURLを提供することが可能になりうるユーザーインターフェースが提示されうる。いくつかの実装形態では、デジタル動画ファイルが識別された後、デジタル動画のサムネイルフレームキャプチャおよび/またはデジタル動画に関する情報(例えば、アドレス、ファイル名、説明、タイトル、サイズ、撮影日)が、コンテンツ入力領域305内に表示されうる。いくつかの実装形態では、共有コンテンツは、URL以外の情報、または他の識別子を伴いうる。例えば、ユーザーは、アイコン320をクリックして、識別された動画を共有コンテンツとして共有することができる。共有コンテンツは、動画コンテンツの識別子だけでなく、再生開始点および持続時間も格納することができる。このような例では、ユーザーは、識別された動画のサブセクションをユーザーがターゲットとする連絡先と共有することができる。

【0042】

図示されている実装形態では、例えば、ユーザーは、アイコン325を選択して、配信対象のハイパーリンク(例えば、URL)を与えることができる。例えば、ユーザーがアイコン325をクリックすると、それに応答して、ユーザーが共有するつもりでいるウェブページのユニフォームリソースロケータ(URL)をユーザーがタイプまたは貼り付けることができるユーザーインターフェースが提示されうる。いくつかの実装形態では、URLが識別された後、識別されたページのサムネイルプレビューおよび/またはページに関する情報(例えば、URL、ウェブサイト、ページタイトル、識別されたページから選択された写真のサムネイル)が、コンテンツ入力領域305内に表示されうる。

【0043】

図示されている実装形態では、例えば、ユーザーは、アイコン330を選択して、配信対象の地図位置を選択することができる。例えば、ユーザーがアイコン330をクリックすると、それに応答して、ユーザーが場所(例えば、企業、ランドマーク、施設、市)および/またはユーザーが共有することを意図している地理的位置(例えば、住所、緯度、経度)を識別することができるユーザーインターフェースが提示されうる。いくつかの実装形態では、位置が識別された後、識別された位置のサムネイル地図および/または位置に関する情報(例えば、URL、住所、場所の名前、識別された場所の写真のサムネイル)が、コンテンツ入力領域305内に表示されうる。

【0044】

いくつかの実装形態では、アイコン330がアクティブ化されると、提案された場所のコレクションをユーザーに提供するためのユーザーインターフェースが提示されうる。例えば、アイコン330をアクティブ化することによって、ユーザーの現在位置を決定ことができ、位置情報を使用して検索することができ、ユーザーが共有を望んでいる付近の場所のリストを識別するプロセスを開始することができる。いくつかの実装形態では、アイコン330をアクティブ化することによって、ユーザーによって提供されるコンテンツアイテムまたはコンテンツを分析してそのコンテンツに関連付けられうる1つまたは複数の場所を識別することができるプロセスを開始することができる。例えば、ユーザーは、「Honeymoon at Mt. Rushmore (新婚旅行ラッシュモア山にて)」を含むテキストを入力し、次いでアイコン330をクリックすることができる。それに応答して、入力されたテキストを分析し、配信すべきデジタルコンテンツの一部として含まれうる提案された位置として「

10

20

30

40

50

Mt. Rushmore National Monument (ラッシュモア山国定記念物)」および/または「Rushmore Honeymoon Cabins (ラッシュモア新婚旅行宿泊ロッジ)」を提案するプロセスを開始することができる。

【 0 0 4 5 】

図3Bを特に参照すると、コンテンツ共有インターフェース300は、配信インターフェース340および共有ボタン342が収まるように拡大しうる。いくつかの実装形態では、配信インターフェース340および共有ボタンは、アイコン315～330のうちの1つまたは複数によるアクティビティを含むコンテンツ入力領域305とのユーザーアクティビティ(例えば、クリック)にตอบสนองして表示されうる。いくつかの実装形態では、コンテンツ入力領域305も、デジタルコンテンツを入力するための余地を作るように拡大する。配信インターフェース340および共有ボタン342、並びにその機能は、上で詳しく説明されているように、図2A～2Dの配信インターフェース202および共有ボタン212に対応する。

【 0 0 4 6 】

いくつかの実装形態では、複数のデジタルコンテンツを配信するためのコンテンツ入力領域305に入力することができる。例えば、ユーザーは、アイコン315をクリックしてデジタル画像を追加し、アイコン330をクリックして位置(例えば、撮像した場所)を追加し、テキスト記述をコンテンツ入力領域305にタイプすることができる。投稿をコミットしたことに応じて(例えば、共有ボタンをクリックすることによって)、上で説明されているように、投稿データセットを生成し、デジタルコンテンツを識別されたユーザーに配信する動作を実行することができる。この例では、投稿データセットのデジタルコンテンツは、デジタル画像、位置、およびテキストを含む。

【 0 0 4 7 】

図4A～4Dは、本開示の実装形態による別の例示的なコンテンツ共有インターフェース400を示している。図4Aを参照すると、コンテンツ共有インターフェース400は、コンテンツアイテム405および共有ボタン410を含むことができる。いくつかの実装形態では、コンテンツアイテム405は、ディスプレイに表示されるデジタルコンテンツとすることができる。例示的なコンテンツアイテムは、1つまたは複数の検索結果、公開記事、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービスへの投稿、デジタル画像、デジタル動画、オーディオファイル、および/または他の適切なデジタルコンテンツを含むことができる。説明のために、例示的なコンテンツアイテム405は、ウェブサイトのウェブページに公開される記事を含むことができる。この例では、共有ボタン410は、コンテンツアイテム405に隣接して、または他の何らかの形で付近において、ウェブページ内に表示されうる。このようにして、共有ボタン410は、コンテンツアイテム405に少なくとも視覚的に関連付けられている。いくつかの実装形態では、HTML、JavaScript(登録商標)、および/または適切なプログラミングコードを使用して、ウェブページ内に共有ボタン410を生成し表示することができ、および/またはコンテンツアイテム405を共有ボタン410に関連付けられているものとして識別するメタデータを与えることができる。

【 0 0 4 8 】

次に図4Bを参照すると、ポインタ415が用意され、これによりユーザーがディスプレイ上に表示されるさまざまなコンポーネントを選択することができる。図4Bの例において、ポインタ415は、共有ボタン410の上でホバリングしているものとして例示されている(例えば、ポインタ415の移動が、所定の時間の間、共有ボタンの上で一時的に停止する)。このユーザーアクションに応じて、表示領域420が提示されうる。表示領域420は、コンテンツアイテム405に関連付けられている共有ステータスに関する情報を表示する。図示されている例では、表示領域420は、コンテンツアイテム405が、ユーザー422aおよびユーザー422bによってすでに共有されていることを示す。いくつかの実装形態では、表示領域420内で識別されたユーザー422a、422bは、ソーシャルネットワーキングサービス内のユーザーの連絡先に対応し、電子メールサービス内のユーザーの連絡先とすることができ、および/またはユーザーとの何らかの接続を有するユーザーとすることができる(例えば、ソーシャルネットワーキングサービス内の友達)。友達の友達)。

【 0 0 4 9 】

次に図4Cを参照すると、ユーザーは、共有ボタン410を選択して(例えば、クリックして)、他のユーザーとコンテンツアイテム405を共有することができる。共有ボタン410のユーザー選択に応答して、表示領域420が拡大し、コンテンツ領域426、配信インターフェース428、および共有ボタン430を表示する。コンテンツ領域426、配信インターフェース428、および共有ボタン430、およびその機能は、上で詳しく説明されているように、図2A~2Dのコンテンツ領域204、配信インターフェース202、および共有ボタン212に対応する。コンテンツ領域426は、コンテンツ入力領域432およびコンテンツサマリー領域434を含むことができる。

【 0 0 5 0 】

本明細書でさらに詳しく説明されているように、コンテンツ入力領域432を使用して、デジタルコンテンツを入力することができ、コンテンツサマリー領域434に、共有すべきコンテンツアイテム405のサマリーを表示することができる。図示されている例では、コンテンツアイテム405は、公開記事を含む(例えば、「The 10 Best Books of 2010 (2010年ベスト本10傑)」。)。コンテンツサマリー領域434には、コンテンツアイテム405のサマリー436が事前書き込まれている。図示されている例では、サマリー436は、サムネイル画像435、記事のタイトル(例えば、「The 10 Best Books of 2010」)、および記事の短い説明440を含む。コンテンツ入力領域426は、コンテンツアイテム405に関するテキストコメントを追加するためにユーザーがインタラクティブに操作することができるインターフェースを備える。例えば、ユーザーは、「The 10 Best Books of 2010」というタイトルの記事

【 0 0 5 1 】

を共有するときに「I have read five of these books, how many have you read? (私は、この中の5冊を読みましたが、何冊あなたは読みましたか。)」などのコメントを追加することができる。

いくつかの実装形態では、記事の短い説明440は、記事の事前に格納されているサマリーおよび/または記事の最初の数語または数文とすることができる。いくつかの例では、ユーザーが共有ボタン410をアクティブ化すると(例えば、クリックすると)、その記事を含むソースドキュメント(例えば、ウェブページドキュメント)への呼び出しを開始する。いくつかの実装形態では、記事の事前に格納されたサマリーが、この要求に応答して提供される。いくつかの実装形態では、アドホックサマリーが生成され、サマリーは、短い説明440として表示するために返される。いくつかの例において、アドホックサマリーは、ソースドキュメントをクロールし、ソースドキュメントからデータ(例えば、テキスト、画像)を抽出し、それに基づきサマリーを生成するスクリプトを使用して生成される。いくつかの例において、アドホックサマリーは、要求(例えば、共有ボタン410上のユーザーアクションに応答して自動的に生成され、送信される要求)に応答してソースドキュメント(例えば、ウェブページを含むウェブサイト)をホストするために使用される1つまたは複数のサーバーシステムによって生成される。

【 0 0 5 2 】

図2の配信インターフェース202に関して上で説明されているように、ユーザーは、配信インターフェース428を使用して共有コンテンツアイテム405の配信を定めることができる。図4Dを特に参照すると、例示的な識別子アイコン450が配信インターフェース428内に用意されている。図示されている例では、識別子アイコン450は、ユーザーの「friends」ソーシャルサークルに対応し、コンテンツアイテム405の共有先となるユーザーの「friends」ソーシャルサークル内に13の連絡先があることを示している。いくつかの実装形態では、コンテンツアイテムをユーザーの連絡先のサブグループと共有する仕方を示す情報を表示するための通知タイプインジケータ455を備えることができる。図示されている例では、「friends」ソーシャルサークル内の13の連絡先のうち、3つの連絡先が電子メール経由で共有通知を受信する。いくつかの実装形態では、変更コントロール460を備え、これは通知タイプ識別子455に関連付けられる。いくつかの実装形態では、変更コントロール460は、通知変更ユーザーインターフェース(図示せず)を表示するようにアクティブ化する

10

20

30

40

50

ことができる。例えば、通知変更ユーザーインターフェースは、ユーザーのソーシャルネットワークサービスメンバーでもない人々に電子メールを送信する、他のユーザーに通知するために電子メールを使用しない、または電子メールの送信先となる連絡先を指定するなどの、オプションを備えることができる。いくつかの実装形態では、サマリーは、共有前にユーザーによる編集が可能である。例えば、本明細書で説明されているように、ユーザーは、テキストをサマリーに入力および/または編集することができ、および/または他のデジタルコンテンツを追加することができる。

【 0 0 5 3 】

図5Aおよび5Bは、図4A~4Dの例示的なコンテンツ共有インターフェース400の一実装形態を示している。図5Aは、ユーザーが共有ボタン410を使用してコンテンツアイテム405を共有した後に、ユーザーに対して表示されるコンテンツ共有インターフェース400の一例を示している。共有ボタン410は、コンテンツアイテム405が共有された後、ユーザーがコンテンツアイテム405を共有する前の共有ボタン410の見かけに比べて、視覚的に変化して見える。例えば、共有ボタン410は、最初に、共有前には第1の配色を、共有後には第2の配色を行うものとして表示されうる。いくつかの実装形態では、ユーザーは、共有ボタン410をクリックし、さらなるアクションを実行しないことによってコンテンツアイテム405に関する情報を共有することができる。例えば、コメントを入力したり、または他のコンテンツを共有情報に関連付けることなく、共有ボタン410をクリックするアクションは、ユーザーがコンテンツアイテム405を好んでいるか、または他の何らかの形で承認もしくは是認していることを示すために使用されうる。

【 0 0 5 4 】

次に図5Bを参照すると、ユーザーは、共有ボタン410の上でポインタ415をホバリングしている。このアクションに反応して、表示領域520が表示される。表示領域520は、コンテンツアイテム405の共有ステータスに関する情報を表示する。図示されている例では、表示領域520は、コンテンツアイテム405が、ユーザー522(「Jane Doe」)によっても共有されていることを示す。ユーザーがコンテンツアイテム405に関するコメントを入力できるようにコメント領域525も備えられている。これは、最初にコンテンツアイテムを共有したときにユーザーによってすでに出されていたコメントに加わるものとしてよい。

【 0 0 5 5 】

本明細書でさらに詳しく説明されているように、コンテンツ共有インターフェースは、さまざまな文脈で実装されうる。いくつかの例では、コンテンツ共有インターフェースは、ソーシャルネットワークサービス内(例えば、ソーシャルネットワークサービスウェブサイトのウェブページ上)、検索結果ページ内、地図表示サービス内(例えば、地図表示ウェブサイトのウェブページ上)に備えられ、ウェブページ内に埋め込まれ、ウェブページ内の特定のコンテンツ(例えば、ニュースサービスウェブサイト上に公開された記事)に関連付けられうる。いくつかの実装形態では、コンテンツ共有インターフェースは、クライアントコンピューティングデバイス上で実行されるウェブブラウザ内のサーファロングウィンドウ(surf-along window)として構成することができる。このような実装形態では、例えば、コンテンツ共有インターフェースは、さまざまなウェブページをユーザーが切り替えて表示するときに一貫して存在し、ウェブブラウザ内に表示されるコンテンツは、コンテンツ共有インターフェースを使用して共有されうる。コンテンツ共有インターフェースが図示され、さまざまな例示的な文脈の中で説明されているが、コンテンツ共有インターフェースは、本明細書で特には説明されていない他の文脈で使用することができることも企図される。

【 0 0 5 6 】

図6Aは、例示的なソーシャルネットワークサービスの文脈の中で提供される例示的なstreamページ600のスクリーンショットである。例えば、streamページ600は、ソーシャルネットワークサービスのウェブサイト内のウェブページとして構成することができ、streamページ600に関連付けられているユーザーと共有されているデジタルコンテンツを表示することができる。図示されている例では、ユーザーは、「Rob McDavies」を含み

10

20

30

40

50

、streamページ600は、他のユーザーがユーザーと共有しているデジタルコンテンツおよび/またはユーザーが他のユーザーと共有しているデジタルコンテンツを表示する。

【0057】

streamページ600内に用意されている他の特徴のうち、streamページには、コンテンツ共有インターフェース610が含まれる。コンテンツ共有インターフェース610は、図示されている例ではstreamページ600上に表示されているが、コンテンツ共有インターフェース610は、特定のウェブページまたはソーシャルネットワーキングサービスのすべてのウェブページ上に表示することができる。このようにして、コンテンツ共有インターフェース610は、任意のウェブページ上でユーザーが利用することができ、ユーザーは、デジタルコンテンツを共有するために特定のウェブページに入らなくて済む。ユーザーは、コンテンツ共有インターフェース610をアクティブ化して(例えば、クリックして)、デジタルコンテンツを共有することができる。

10

【0058】

図6Bは、例示的なstreamページ600の別のスクリーンショットを表している。図示されている例では、ユーザーがコンテンツ共有インターフェース610をクリックしており、コンテンツ共有インターフェース610は、コンテンツ入力領域612、配信インターフェース614、および共有ボタン616が収まるように拡大する。コンテンツ入力領域612、配信インターフェース614、および共有ボタン616、およびその機能は、上で詳しく説明されているように、図3Aおよび3Bのコンテンツ入力領域305、配信インターフェース340、および共有ボタン342に対応する。

20

【0059】

図示されている例では、例示的な識別子アイコン620および例示的な識別子アイコン622が配信インターフェース614内に用意されている。上で説明されているように、識別子アイコン620、622は、それぞれ、デジタルコンテンツの共有相手となる1人または複数のユーザーの視覚的表現として構成される。図6Bの例において、ユーザーは、コンテンツ入力領域612内のデジタルコンテンツが「friends」ソーシャルサークルのメンバーおよび「family」ソーシャルサークルのメンバーと共有されることを暫定的に指示している。投稿がコミットされるまで、識別子アイコン620、622は、デジタルコンテンツの仮配信を提供する。例えば、ユーザーは各識別子アイコン620、622の削除コントロール624、626をアクティブ化して(例えば、クリックして)、配信インターフェース614から識別子アイコン620、622を削除することができる。

30

【0060】

図6Bの例において、コンテンツ入力領域612で与えられるデジタルコンテンツに対する配信は、配信インターフェース614で識別されるソーシャルサークルおよび/または連絡先によって定めることができる。図示されている例では、配信は、Friendsソーシャルサークル(友達サークルアイコン620によってグラフィックで表されている)およびFamilyソーシャルサークル(家族サークルアイコン622によってグラフィックで表されている)によって定められる。この例では、配信は、Friendsソーシャルサークルのメンバーである連絡先のすべて、およびFamilyソーシャルサークルのメンバーである連絡先のすべてを含む。FriendsソーシャルサークルおよびFamilyソーシャルサークルはそれぞれ、配信全体を定める下位配信と考えることができる。

40

【0061】

いくつかの実装形態では、電子メール共有コントロール630を備えることができる。アクティブ化されると(例えば、クリックされると)、電子メール共有コントロール630は、コンテンツが、ソーシャルネットワーキングサービスを現在使用していない人々と共有するかどうかを制御するユーザーのための手段となる。例えば、電子メール共有コントロール682は、電子メールを使用すべきであることを指示するためにユーザーが1回クリックすることができるトグルコントロールとして機能することができ、もう1回クリックすると電子メールが使用すべきでないことを指示する。電子メールカウントインジケータ684は、電子メール経由で共有されたコンテンツを受信する仮配信内の人々の数を表示する。

50

【 0 0 6 2 】

いくつかの実装形態では、オートコンプリートコンポーネントは、ユーザーが、ソーシャルサークルおよび/または個別の連絡先の名前の一部を入力するだけで、投稿のコンテンツが配信されるべきソーシャルサークルおよび/または個別の連絡先を指定することができるようにするオートコンプリート機能を提供する。いくつかの実装形態では、オートコンプリート機能は、連絡先のランキングに基づくものとしてよい。例えば、連絡先および/またはソーシャルサークルは、関連付けられているランキングスコアを含むことができる。より高いランキングスコアを有する連絡先は、より低いランキングスコアを有する連絡先より高くランク付けされる。いくつかの例において、オートコンプリート機能は、以下でさらに詳しく説明されている、コンテンツ共有インターフェースの配信インターフェース内に入力されるテキストに基づき1つまたは複数の連絡先および/または1つまたは複数のソーシャルサークルを識別することができる。1つまたは複数の連絡先および/または1つまたは複数のソーシャルサークルを、ランキングスコアに基づくランク順序でリストに並べることができる。

10

【 0 0 6 3 】

例えば、入力されたテキストは、文字「f」を含み、オートコンプリート機能により、デジタルコンテンツの配信先とすることができる、ユーザーの連絡先として連絡先「Farley」および「Frank」を識別することができる。連絡先「Farley」は、連絡先「Frank」のランキングスコアより低いランキングスコアを有するものとしてよい。連絡先は、ランキングスコアに基づくランク順序で選択できるようユーザーに対して表示されうる。したがって、引き続きこの例を用いると、連絡先「Frank」は、連絡先「Farley」に比べて、ユーザーに対して表示される連絡先のリスト上で上位にリスト表示されうる。この方法で、連絡先「Farley」はアルファベット順だと最初にリスト表示されうるけれども、連絡先「Frank」は代わりにランキングスコアに基づき最初にリスト表示される。別の例として、入力されたテキストは、文字「f」を含み、オートコンプリート機能により、デジタルコンテンツの配信先とすることができる、ユーザーによって定められたソーシャルサークルとしてソーシャルサークル「Family」および「Friends」を識別することができる。ソーシャルサークル「Family」は、ソーシャルサークル「Friends」のランキングスコアより低いランキングスコアを有することができる。ソーシャルサークルは、ランキングスコアに基づくランク順序で選択できるようユーザーに対して表示されうる。したがって、引き続きこの例を用いると、ソーシャルサークル「Friends」は、ソーシャルサークル「Family」に比べて、ユーザーに対して表示される連絡先のリスト上で上位にリスト表示されうる。この方法で、ソーシャルサークル「Family」はアルファベット順だと最初にリスト表示されうるけれども、ソーシャルサークル「Friends」は代わりにランキングスコアに基づき最初にリスト表示される。

20

30

【 0 0 6 4 】

いくつかの実装形態では、ランキングスコアは、連絡先および/またはソーシャルサークルの人気度に基づくものとしてすることができる。例えば、ユーザーが頻繁にデジタルコンテンツの共有先とする連絡先は、ユーザーがデジタルコンテンツの共有先とすることが希な連絡先のランキングスコアより高いランキングスコアを有することができる。引き続き上で取りあげた例を参照すると、連絡先「Frank」は、連絡先「Farley」よりも頻繁にユーザーからデジタルコンテンツを受信しうる。別の例として、デジタルコンテンツの配信を定めるために頻繁に使用されるソーシャルサークルは、デジタルコンテンツの配信を定めるためにあまり頻繁に使用されないソーシャルサークルのランキングスコアに比べて高いランキングスコアを有することができる。引き続き上で取りあげた例を参照すると、ソーシャルサークル「Friends」は、ソーシャルサークル「Family」に比べてユーザーによるデジタルコンテンツの配信を定めるために頻繁に使用されうる(すなわち、ユーザーは、FamilyソーシャルサークルよりもFriendsソーシャルサークルにコンテンツ配信する)。

40

【 0 0 6 5 】

50

いくつかの実装形態では、ランキングスコアは、各連絡先へのユーザーの社会的近接度に基づくものとするができる。例えば、ユーザーの直接的連絡先である連絡先のランキングスコアは、ユーザーの間接的連絡先である連絡先のランキングスコアより高いものとするができる。引き続き上で取りあげた例を参照すると、連絡先「Frank」は、ユーザーの直接的連絡先(例えば、友達)であるが、連絡先「Farley」は、ユーザーの間接的連絡先(例えば、友達の友達)であるものとしてよいことがわかる。

【 0 0 6 6 】

いくつかの実装形態では、ランキングスコアは、ユーザーと各連絡先との間の電子メールを介した相互のやり取りの頻度に基づくものとするができる。例えば、ユーザーは、電子メールサービスを使用してそれぞれの連絡先に直接電子メールを送信することができ、ランキングスコアは、電子メールによる相互のやり取りに基づきそれぞれの連絡先について生成されうる。いくつかの例において、ランキングスコアは、ユーザーから特定の連絡先に送信された電子メールの数に基づき決定されうる。いくつかの例において、ランキングスコアは、特定の期間にわたってユーザーから特定の連絡先に送信された電子メールの数に基づき決定されうる。この方法では、連絡先との電子メールによるやり取りの頻度(すなわち、期間毎の電子メール数)がランキングスコアにおいて考慮される。いくつかの例において、ランキングスコアは、ユーザーから特定の連絡先に送信された電子メールの数および特定の連絡先からユーザーに送信された電子メールの数に基づき決定されうる。いくつかの実装形態では、それぞれのランキングスコアは、電子メールサービスによってソーシャルネットワーキングサービスに提供されてもよい。

【 0 0 6 7 】

引き続き上で取りあげた例を参照すると、連絡先「Frank」は、ユーザーと電子メールで頻繁に通信しているが、連絡先「Farley」は、ユーザーと電子メールであまり頻繁には通信していないことがわかる。Frankに対応するランキングスコアおよびFarleyに対応するランキングスコアは、電子メールサービスから基盤となっているソーシャルネットワーキングサービスに送ることができる。したがって、コンテンツ共有インターフェースに入力されたテキストは、文字「f」を含み、オートコンプリート機能により、デジタルコンテンツの配信先とすることができる、ユーザーの連絡先として連絡先「Farley」および「Frank」を識別することができる。連絡先は、ランキングスコアに基づくランク順序で選択できるようユーザーに対して表示されうる。したがって、引き続きこの例を用いると、連絡先「Frank」は、連絡先「Farley」に比べて、ユーザーに対して表示される連絡先のリスト上で上位にリスト表示されうる。

【 0 0 6 8 】

いくつかの例において、文字を、ユーザーによって入力されるのと同時にサーバーに送り、サーバーはその文字、およびすでに送られている文字を処理して、ユーザーに表示するように出力を構成することができる。例えば、本明細書で説明されているオートコンプリート機能は、文字データをユーザーによってコンテンツ共有インターフェースに入力されるとともにサーバーに送信するステップを含みうる。それに応答して、サーバーは、連絡先名および/またはソーシャルサークルのリストでユーザーに送り返して表示するように入力文字データに対応する1つまたは複数の連絡先名および/またはソーシャルサークルを含む出力を生成することができ、ユーザーはそこから特定の連絡先および/またはソーシャルサークルを選択することができる。

【 0 0 6 9 】

上で説明されているように、ユーザーは、コンテンツ共有インターフェースのテキスト領域にユーザー入力を入れることができる。いくつかの実装形態では、ユーザー入力は、1つまたは複数のトリガー文字を含むことができ、それぞれのトリガー文字はユーザーによって提供されるデジタルコンテンツの配信(すなわち、結果として得られるACL)を拡張する。例えば、トリガー文字は、トリガー文字の直後の文字が特定の投稿のデジタルコンテンツの配信先となる連絡先を定めることを指示することができる。いくつかの実装形態では、これは、関連付けられている配信インターフェースで識別された連絡先および/ま

10

20

30

40

50

たはソーシャルサークルに加えたものである。いくつかの例において、トリガー文字は、「@」文字および/または「+」文字を含むことができる。トリガー文字の直後に、連絡先名が来る。トリガー文字および特定の連絡先の連絡先名は、特定の投稿のテキスト内で、その投稿が関連付けられている配信インターフェースを使用して入力される他の連絡先および/またはソーシャルサークルに加えて特定の連絡先に配信されることを指示する。

【0070】

一例では、ユーザーは、テキスト「@Frank」（または「+Frank」）をテキスト領域（例えば、コンテンツ共有インターフェース300のコンテンツ入力領域305）内にテキスト形式の投稿の一部として入力することができる。例えば、テキスト形式の投稿の一部として、ユーザーは、テキスト「@Frank and I are headed to Joe's Tavern to watch the playoffs（@フランクと私は、プレイオフを見に居酒屋ジョーに向かっている）」をコンテンツ共有インターフェースのテキスト領域内に入力することができる。ユーザーは、コンテンツ共有インターフェースに関連付けられている配信インターフェース（例えば、コンテンツ共有インターフェース300の配信インターフェース340）を使用してテキスト形式の投稿がソーシャルサークル（例えば、Friendsソーシャルサークル）に配信されることを指示することができる。ユーザーがソーシャルネットワーキングサービスを使用して配信するためにテキスト形式の投稿を（例えば、投稿ボタンをクリックすることによって）送信したことに応答して、本明細書で説明されているように、そのテキスト形式の投稿に対してACLが生成され、これはソーシャルサークルのメンバーであるユーザーの連絡先、さらには連絡先Frank（ソーシャルサークルのメンバーである場合もない場合もある）を含む。したがって、テキスト「@Frank」がテキスト領域内に存在すると、その結果、連絡先Frankが配信インターフェースを使用して定められた配信の一部として識別されていない可能性があったとしても、テキスト形式の投稿が連絡先Frankに配信される。

【0071】

いくつかの実装形態では、トリガー文字を含むテキスト形式の投稿は、連絡先に配信され、トリガー文字が存在しない状態にされうる。引き続き上の例において、ユーザーは、テキスト「@Frank and I are headed to Joe's Tavern to watch the playoffs」を入力することができる。テキスト形式の投稿をサブミットした後、投稿は、連絡先Frankに、さらには配信インターフェースを使用して定められた連絡先および/またはソーシャルサークルに配信される。連絡先Frankおよび/または投稿の配信先となる他の連絡先では、投稿は、「Frank and I are headed to Joe's Tavern to watch the playoffs」と、「@」トリガー文字を取り除いて表示されうる。

【0072】

いくつかの実装形態では、トリガー文字の後の連絡先名は、ハイパーテキストに変換され、ソーシャルネットワーキングサービス内の連絡先のプロフィールへのリンクにすることができる。引き続き上の例において、ユーザーは、テキスト「@Frank and I are headed to Joe's Tavern to watch the playoffs」を入力することができる。テキスト形式の投稿をサブミットした後、投稿は、連絡先Frankに、さらには配信インターフェースを使用して定められた連絡先および/またはソーシャルサークルに配信される。連絡先Frankおよび/または投稿の配信先となる他の連絡先では、投稿は、「Frank(下線付き) and I are headed to Joe's Tavern to watch the playoffs」と、「@」トリガー文字を取り除いて表示され、テキスト「Frank」には関連するハイパーリンクが付けられる。ハイパーリンク上でアクションを起こす（例えば、クリックする）と、Frankによって定められているプライバシー設定に応じて、ソーシャルネットワーキングサービス内のFrankのプロファイルがそのアクションを実行したユーザーに対して表示されうる。

【0073】

いくつかの実装形態では、テキスト領域内のトリガー文字の後のテキストは、本明細書で説明されているオートコンプリート機能を使用して与えることができる。引き続き上の例において、ユーザーは、最初に「@F」とタイプすると、それに応答して、連絡先名のリストがユーザーに提示され、そこから選択して連絡先名の入力を完成することができる

10

20

30

40

50

。本明細書でさらに説明されているように、連絡先名のリストに入っている連絡先名は、各ランキングスコアに基づくランク順に並べることができる。

【0074】

いくつかの例において、サーバーは、サブミットされたテキストを分析して、テキスト内のトリガー文字の存在を認識することができる。それに応答して、サーバーは、トリガー文字の直後のテキストを分析して、そのテキストをサブミットしたユーザーの連絡先を識別することができ、その連絡先を投稿配信するためにACLに追加することができる。いくつかの例において、文字を、ユーザーによって入力されるのと同時にサーバーに送り、サーバーはその文字、およびすでに送られている文字を処理して、ユーザーに表示するように出力を提供することができる。例えば、本明細書で説明されているオートコンプリート機能は、文字データをユーザーによってコンテンツ共有インターフェースに入力されるとともにサーバーに送信するステップを含みうる。それに応答して、サーバーは、連絡先名および/またはソーシャルサークルのリストでユーザーに送り返して表示するように入力文字データに対応する1つまたは複数の連絡先名および/またはソーシャルサークルを含む出力を生成することができ、ユーザーはそこから特定の連絡先および/またはソーシャルサークルを選択することができる。いくつかの実装形態では、テキスト領域内にトリガー文字が存在すると、トリガー文字の直後の連絡先名および/またはソーシャルサークルを選択できるようにオートコンプリート機能が起動しうる。

10

【0075】

図7は、例示的なコンテンツ共有インターフェースを含む例示的なウェブページ700のスクリーンショットを表している。図示されている例では、ウェブページ700は、検索結果ウェブページとして提供される。ウェブページ700は、検索結果710~730のコレクションを含む。いくつかの実装形態では、検索結果710~730のそれぞれは、図4A~4Dのコンテンツアイテム405などのコンテンツアイテムとして与えられうる。

20

【0076】

共有ボタン740、750、760は、検索結果ページ内に埋め込むことができ、それぞれの共有ボタン740、750、760は、各検索結果710、720、730に関連付けられうる。いくつかの実装形態では、HTML、JavaScript(登録商標)、および/または適切なプログラミングコードを使用して、検索結果ページ内に共有ボタン740、750、760を生成し表示することができ、および/または各検索結果710、720、730を共有ボタン740、750、760に関連付けられているものとして識別するメタデータを与えることができる。図4A~5Bを参照しつつ詳細に説明されているように、ユーザーが検索結果ページを表示することで、共有ボタン740、750、760がアクティブ化され、これにより、各検索結果710、720、730をコンテンツアイテムとして共有することができる。例えば、ユーザーは、共有ボタン760をクリックして、図4Cを参照しつつ上で説明されているように、表示領域420を開き、検索結果730を共有するための配信を行うことができる。

30

【0077】

例示的なウェブページ700は、ウェブページ700の上辺にそって表示されるいわゆる「サンドバー」780をさらに備える。図示されている例では、サンドバー780は、他の機能呼び出すためのハイパーテキストリンクを備える。この例では、ハイパーテキストリンクを備えているが、他のタイプのリンク(例えば、アイコン、サムネイル)を備えることもできる。「共有」リンク782が用意され、これをアクティブ化すると(例えば、クリックすると)コンテンツ共有インターフェースを呼び出すことができる。いくつかの実装形態では、図4Dのコンテンツ共有インターフェース420は、共有リンク782のアクティブ化に応答して表示されうる。コンテンツ共有インターフェースを使用することで、ユーザーは、検索結果を丸ごと他のユーザーとデジタルコンテンツとして共有することができる。例えば、検索結果のサマリーおよび/または検索結果ページへのURLを、配信で定められているユーザーと共有することができる。サンドバー780が、例示的なウェブページ700内に表示されているけれども、サンドバーは、ユーザーが閲覧するいくつかのウェブページまたはすべてのウェブページのそれぞれに表示される特徴であるものとすることができる。

40

50

【 0 0 7 8 】

図8は、例示的なコンテンツ共有インターフェース805および表示される地図空間810を含む例示的な地図ページ800のスクリーンショットを表している。いくつかの実装形態では、コンテンツ共有インターフェース805は、共有ボタン410として実現され、地図空間は、上で詳細に説明されている、図4A～4Dのコンテンツアイテム405に対応しうる。地図空間810は、地図サーバーによって選択された地図の一部を含み、ウェブブラウザまたは地図表示アプリケーションなどの、ユーザーインターフェースによって表示されうる。いくつかの実装形態では、地図空間810は、表示領域815およびズームレベル820によって定めることができる。表示領域815は、地図空間810を提示するように割り当てられたユーザーの表示の一部を含むことができる。他の実装形態では、地図空間810は、中心点によってさらに定めることができる。中心点は、参照点として使用される地図空間810内の注目する位置(例えば、市の中心、目的地、商業立地)または他の地点とすることができる。

10

【 0 0 7 9 】

表示領域815は、多くの要因によって異なりうる。要因の例として、表示デバイスの制限、ユーザープリファレンス、およびパブリッシャープリファレンスが挙げられる。図示されている例では、表示領域815は、表示デバイスのサイズおよび解像度によって定められる。例えば、21インチのディスプレイおよび1280×768の解像度を有するデスクトップコンピュータは、3インチのディスプレイおよび240×240の解像度を有するウェブ対応ハンドヘルドデバイスよりも広く地図を表示することができる。したがって、異なるユーザーデバイスに対して提示するように選択された地図空間810は、それぞれのユーザーデバイスの表示領域815および解像度が異なるときに異なりうる。

20

【 0 0 8 0 】

それに加えて、ユーザープリファレンスは、地図空間を提示するのに利用可能な表示領域815に影響を及ぼしうる。ユーザーデバイスは、表示領域815および解像度を定めるユーザープリファレンス設定を有することができる。例えば、ウェブページを21インチの表示デバイスに表示するユーザーデバイスは、表示領域815を含むアプリケーションウィンドウが表示全体に満たない領域を占有するようにリサイズされた場合に、制限された表示領域815を有することができる。同様に、ユーザーデバイスが、21インチのディスプレイ内に複数のウィンドウを表示しているか、または他の何らかの形で、ウェブページを表示しているウィンドウを最大化していない場合に、表示領域815は、制限されうる。ユーザーデバイスは、利用可能な最大解像度より低い解像度で動作するように、したがって表示される情報を減らすようにユーザーが構成することもできる。

30

【 0 0 8 1 】

さらに、表示領域815は、パブリッシャープリファレンスによって異なりうる。例えば、パブリッシャーは、さまざまな情報を単一のページに表示することを可能にする設計仕様に従って地図空間を組み込むようにウェブページを設計することができる(例えば、コンテンツ、広告、リンク)。したがって、地図空間810を表示するために割り当てられたそれぞれのウェブページの部分は、設計仕様で定められ、パブリッシャーによって割り当てられている表示領域に応じて異なってもよい。例えば、地図を表示することを専門に行うウェブページを公開するパブリッシャーは、図8に示されているように、ウェブページの大きな部分を表示領域815として割り当てることができるが、その際に、この表示の小さな部分を他のウェブページへのハイパーリンクなどの他の情報に利用する。ウェブページの大きな部分を地図の表示に割り当てるパブリッシャーの例として、地図サービスがある。対照的に、一般的なコンテンツウェブページを公開するパブリッシャーは、地図空間810がパブリッシャーが提示している情報の一部にすぎないため、ウェブページのかなり小さな部分を表示領域815として割り当てると傾向が強い場合がある。

40

【 0 0 8 2 】

ユーザーは、共有ボタン805をアクティブ化して、表示領域815内に示されている特定の地図を共有することができる。いくつかの実装形態では、共有ボタン805をクリックすることによって、ユーザーは、地図表示サービスにリンクし、地図を表示する命令を与える

50

URL 825を共有することができる。いくつかの実装形態では、しかし、URL 825は、表示領域815内に、および/または選択されたズームレベル820で、現在示されている地図空間810の中心点を正確に伝えることができない。例えば、表示領域内に表示される地図は、ユーザーによって呼び出された1つまたは複数のパン動作および/またはズーム動作の結果である場合がある。したがって、いくつかの実装形態では、共有ボタン805をアクティブ化すると、地図領域810の識別(例えば、URL 825)だけでなく表示領域815およびズームレベル820を記述するメタデータがコンテンツとして他のユーザーと共有されうる。例えば、その結果得られる投稿データセットは、URLおよびメタデータを含むことができる。例えば、受信ユーザーが、共有されるURLをクリックすると、地図表示サービスが呼び出され、このメタデータが地図表示サービスに(例えば、1つまたは複数のアプリケーションプログラムインターフェース(API)を通じて)送られ、これにより、最初に地図を共有したときに、共有ユーザーが地図を閲覧したとおりに正確に(例えば、同じパン動作およびズーム動作で)受信ユーザーに対して地図を表示することができる。

10

【0083】

本開示の実装形態によれば、サーバーサイドコンピューティングデバイス(例えば、図1のサーバーシステム112)を使用して、1つまたは複数のドキュメントを1つまたは複数のクライアントサイドコンピューティングデバイス(例えば、クライアントデバイス102~110)に提供することができる。いくつかの実装形態では、ドキュメントは、ブラウザウィンドウ内にウェブページを表示するためにクライアントサイドコンピューティングデバイス上で実行されているブラウザアプリケーションによって処理することができる命令を含むものとしてよい。これらの命令は、ウェブページ内でコンテンツ共有インターフェースを表示し、コンテンツ共有インターフェースを通じてユーザー入力を受信するための命令を含みうる。いくつかの実装形態では、これらの命令は、ウェブページ内に与えられるデジタルコンテンツをコンテンツ共有インターフェースに関連付けるための命令を含みうる。

20

【0084】

本開示の実装形態によれば、サーバーサイドコンピューティングデバイス(例えば、図1のサーバーシステム112)を使用して、命令を1つまたは複数のクライアントサイドコンピューティングデバイス(例えば、クライアントデバイス102~110)に供給することができる。いくつかの実装形態では、これらの命令は、クライアントサイドコンピューティングデバイス上で実行されるブラウザアプリケーションによって処理され、これにより、ブラウザによって表示される1つまたは複数のウェブページ内でコンテンツ共有インターフェースを表示し、コンテンツ共有インターフェースを通じてユーザー入力を受信することができる。いくつかの実装形態では、これらの命令は、1つまたは複数のウェブページのそれぞれの中に提示されるデジタルコンテンツをコンテンツ共有インターフェースに関連付けるための命令を含みうる。

30

【0085】

本開示の実装形態によれば、クライアントサイドコンピューティングデバイス(例えば、クライアントデバイス102~110)は、クライアント共有アプリケーションを実行して、クライアントサイドコンピューティングデバイスのディスプレイ上にコンテンツ共有インターフェースを表示することができる。コンテンツ共有アプリケーションは、表示内にコンテンツ共有インターフェースを表示し、コンテンツ共有インターフェースを通じてユーザー入力を受信するための命令を含みうる。コンテンツ共有アプリケーションは、クライアントサイドコンピューティングデバイスのユーザーに関連付けられている連絡先のネットワークに対応するものとしてよい。いくつかの実装形態では、連絡先のネットワークは電子メールサービスを経由の連絡先、および/またはソーシャルネットワーキングサービス経由の連絡先を含むことができる。いくつかの例において、コンテンツ共有アプリケーションは、クライアントコンピューティングデバイスのデスクトップ画面上に表示されるコンテンツ共有インターフェースを備えることができる。その結果、クライアントコンピューティングデバイスのユーザーは、ソーシャルネットワーキングサービスのウェブサイトにアクセスすることなく、デジタルコンテンツを連絡先とデスクトップ画面から直接共

40

50

有することができる。

【0086】

いくつかの実装形態では、コンテンツ共有アプリケーションは、コンピューティングデバイスを使用して実行されうる他のアプリケーションへのアドオンとして提供されうる。いくつかの例において、生産性アプリケーション(例えば、文書処理アプリケーション、スプレッドシートアプリケーション、プレゼンテーションアプリケーション、電子メールアプリケーション)を実行すると、ユーザーがタスクを実行する(例えば、ドキュメント、スプレッドシート、プレゼンテーション、および/または電子メールを作成し、および/または編集する)ために使用できるグラフィカルユーザーインターフェース(GUI)が与えられうる。コンテンツ共有アプリケーションを実行すると、生産性アプリケーションのGUI内にコンテンツ共有インターフェースが与えられうる。このようにして、ユーザーは、アプリケーションを切り替えなくても、および/またはソーシャルネットワーキングサービスのウェブサイトアクセスすることなく、生産性アプリケーション内で動作しつつ、デジタルコンテンツを連絡先と共有することができる。生産性アプリケーションは、例示目的で取りあげられており、コンテンツ共有アプリケーションは、他の適切なタイプのアプリケーション(例えば、娯楽、ゲーム)へのアドオンとして提供することができる。

10

【0087】

図9は、コンテンツを共有するための例示的なプロセス900を示す流れ図である。例示的なプロセス900は、1つまたは複数のコンピューティングデバイス上で実行される1つまたは複数のプログラムアプリケーションを使用して実施されうる。いくつかの実装形態では、1つまたは複数のサーバーシステム(例えば、図1のサーバーシステム112)および1つまたは複数のクライアントコンピューティングデバイス(例えば、図1のクライアントデバイス102~110)は、例示的なプロセス900の動作を実行することができる。

20

【0088】

ドキュメントは、クライアントコンピューティングデバイスに提供される(すなわち、送信される)(902)。例えば、サーバーシステム112は、ドキュメントをクライアントコンピューティングデバイス108に提供する。ドキュメントは、ブラウザアプリケーションにクライアントサイドの動作を実行させるための命令を含む。例えば、クライアントコンピューティングデバイス108は、これらの命令を処理するブラウザアプリケーションを実行することができる。

30

【0089】

デジタルコンテンツが表示される(904)。例えば、デジタルコンテンツは、ブラウザアプリケーションの1つのウィンドウ内に表示されうる。コンテンツ共有インターフェースのグラフィカル表現が表示される(906)。例えば、デジタルコンテンツは、ブラウザアプリケーションの1つのウィンドウ内に表示されうる。ユーザー入力がコンテンツ共有インターフェースに受信される(908)。例えば、ユーザー120dは、コンピューティングデバイス108を使用してコンテンツ共有インターフェースへの入力を行うことができる。ユーザー入力は、デジタルコンテンツの配信先である1つまたは複数の連絡先を指示する。ユーザー入力が受信したことに応答して1つまたは複数のアイコンがコンテンツ共有インターフェース内に表示される(910)。例えば、ユーザー入力は、ユーザーの1つまたは複数の連絡先を識別するために処理されうる。1つまたは複数の連絡先は、電子メールサービス内のユーザーの連絡先、および/またはソーシャルネットワーキングサービス内の連絡先とすることができる。1つまたは複数のアイコンのそれぞれのアイコンが1つまたは複数の連絡先のグラフィカル表現である。

40

【0090】

コンテンツ共有インターフェースへのユーザー入力が受信される(912)。ユーザー入力は、デジタルコンテンツを配信するユーザー命令を含む。例えば、ユーザー入力は、コンテンツ共有インターフェースの共有ボタンをユーザーがクリックしたことに応答して生成されうる。ユーザー入力が応答して投稿データがサーバーコンピューティングシステムに送信される(914)。投稿データセットは、デジタルコンテンツデータおよび配信データを

50

含む。投稿データセットを受信する(916)。例えば、サーバーシステムは、投稿データセットを受信する。配信データに基づきアクセス制御リスト(ACL)が生成される(918)。配信データは、1つまたは複数の連絡先に対応する。例えば、サーバーシステムは、配信データに基づきACLを生成する。ACLに基づきデジタルコンテンツが配信される(920)。例えば、サーバーシステムは、デジタルコンテンツの配信先となるエンドポイントを決定する配信ハブを備えることができる。

【0091】

いくつかの実装形態では、例示的なプロセス900は、追加のアクションを備えることができる。いくつかの例において、デジタルコンテンツの配信先となる1つまたは複数の連絡先を指示するユーザー入力を受信した後、ACLサービスは、図10A~12に関して以下で説明されているように、デジタルコンテンツの配信先となる1つまたは複数の連絡先、連絡先のグループ、および/またはドメインを1つまたは複数のポリシーと突き合わせてチェックすることができる。

10

【0092】

いくつかの実装形態では、上で説明されている、ACLサービスは、1つまたは複数のデジタルコンテンツ配信ポリシーを強制することができる。例示的な配信ポリシーは、年齢ポリシーおよび/またはドメインポリシーを含むことができる。例示することを目的として、本明細書ではドメインポリシーを取りあげて説明する。いくつかの例において、ドメインポリシーは、ユーザーがデジタルコンテンツを特定のドメイン内の連絡先ではない連絡先に配信することを可能にするステップ、またはユーザーがデジタルコンテンツを特定のドメイン内の連絡先ではない連絡先にすることを禁止するステップを含むことができる。ドメインの一例として、コンピュータで実行されるソーシャルネットワーキングサービスのプロバイダのドメインが挙げられる。いくつかの例において、年齢ポリシーは、未成年と判定された1つまたは複数の連絡先へのデジタルコンテンツの配信を禁止するステップを含むことができる。

20

【0093】

図10A~11は、ドメインポリシーを強制する際のアクセス制御リスト(ACL)サービスの例示的な出力を示している。図10Aおよび10Bは、ユーザーがデジタルコンテンツを特定のドメイン内の連絡先ではない連絡先に配信することを可能にするドメインポリシーに対応している。しかし、このポリシーによれば、ユーザーは、デジタルコンテンツが特定のドメインの外部の連絡先に配信されるという警告を受ける。いくつかの例において、例示目的で、第1のドメインは、ソーシャルネットワーキングサービスのプロバイダによって確立されたソーシャルネットワーキングサービスドメインを含むことができ、第2のドメインは、電子メールサービスのプロバイダによって確立された電子メールサービスドメインを含むことができる。

30

【0094】

図10Aおよび10Bを特に参照すると、ソーシャルネットワーキングサービスのユーザーは、本明細書で詳しく説明されているように、デジタルコンテンツの配信を定めるための入力を配信インターフェース1000に送ることができる。1つまたは複数の連絡先および/または1つまたは複数のソーシャルサークルを、そのユーザー入力に基づき決定することができる。決定された連絡先および/またはソーシャルサークルは、本明細書で詳細に説明されているように、配信インターフェース1000内にグラフィカルに表現されうる。図10Aの例では、「Anyone」アイコン1002は、第1の配信をグラフィカルに表現し、「Soccer Club (サッカークラブ)」アイコン1004は、第2の配信をグラフィカルに表現し、「Friends」アイコン1006は、第3の配信を表現する。図示されている例において、第1の配信は、インターネットにアクセスするユーザーを含み、関連付けられているデジタルコンテンツがインターネット経由で誰でも見ることができることを示す。第2の配信は、ソーシャルネットワーキングサービス内のユーザーによって確立されたSoccer Clubソーシャルサークルに対応し、ソーシャルネットワーキングサービス(すなわち、第1のドメイン)内の連絡先である1つまたは複数の連絡先、および非ソーシャルネットワーキングサービス連絡先で

40

50

はない1つまたは複数の連絡先を含むことができる。いくつかの例において、非ソーシャルネットワーキング連絡先は、電子メールサービス(例えば、第2のドメイン)内の連絡先とすることができる。第3の配信は、ソーシャルネットワーキングサービス内のユーザーによって確立されたFriendsソーシャルサークルに対応し、ソーシャルネットワーキングサービス(すなわち、第1のドメイン)内の連絡先である1つまたは複数の連絡先を含むことができる。

【 0 0 9 5 】

いくつかの実装形態では、ACLサービスは、配信インターフェース1000で定められた第1の配信を指示するデータを受信することができる。ACLサービスは第1の配信を処理して、デジタルコンテンツが第1のドメインの外部から見えるかどうかを決定することができる。引き続き上記の例を参照すると、第1の配信は、インターネットにアクセスするユーザーを含む。その結果、ACLサービスは、第1の配信に基づき配信された場合に、デジタルコンテンツが第1のドメインの外部から見えると判定する。それに応答して、ACLサービスは通知データを送り、これの通知データを処理することで、デジタルコンテンツが第1のドメインの外部から見えるというユーザーへの通知を生成することができる。いくつかの例において、対応するアイコン1002の外観に基づき初期通知が構成されうる。図10Aの例において、アイコン1002の色は赤にすることができ、例えば、デジタルコンテンツが第1のドメインの外部から見えることを視覚的に指示する。いくつかの例において、デジタルコンテンツが第1のドメインの外部から見えることをテキストで指示する吹出し1008を表示することができる。例えば、ユーザーは、表示内でカーソルをアイコン1002上にホバリングする操作を行うことができる。このホバリングアクションに応答して、吹出し1008が表示されうる。

【 0 0 9 6 】

いくつかの実装形態では、ACLサービスは、配信インターフェース1000で定められた第2の配信を指示するデータを受信することができる。ACLサービスは第2の配信を処理して、デジタルコンテンツが第1のドメインの外部から見えるかどうかを決定することができる。引き続き上記の例を参照すると、第2の配信は、ソーシャルネットワーキングサービス(すなわち、第1のドメイン)内の連絡先および非ソーシャルネットワーキングサービス連絡先を含むことがわかる。その結果、ACLサービスは、第2の配信に基づき配信された場合に、デジタルコンテンツが第1のドメインの外部から見えると判定する。それに応答して、ACLサービスは通知データを送り、これの通知データを処理することで、デジタルコンテンツが第1のドメインの外部から見えるというユーザーへの通知を生成することができる。図10Aの例において、アイコン1004の色は赤にすることができ、例えば、デジタルコンテンツが第1のドメインの外部から見えることを視覚的に指示する。

【 0 0 9 7 】

いくつかの実装形態では、ACLサービスは、配信インターフェース1000で定められた第3の配信を指示するデータを受信することができる。ACLサービスは第3の配信を処理して、デジタルコンテンツが第1のドメインの外部から見えるかどうかを決定することができる。引き続き上記の例を参照すると、第3の配信は、ソーシャルネットワーキングサービス(すなわち、第1のドメイン)内の連絡先を含むことがわかる。その結果、ACLサービスは、第3の配信に基づき配信された場合に、デジタルコンテンツが第1のドメインの外部から見えないと判定する。それに応答して、ACLサービスは通知データを送り、これの通知データを処理することで、第3の配信の結果としてデジタルコンテンツが第1のドメインの外部から見えないというユーザーへの通知を生成することができる。図10Aの例において、アイコン1006の色は緑色にすることができ、例えば、第3の配信の結果としてデジタルコンテンツが第1のドメイン内でのみ見えることを視覚的に指示する。

【 0 0 9 8 】

いくつかの実装形態では、投稿ボタン1010を備えることができる。ユーザーは、投稿ボタン1010をアクティブ化して(例えば、クリックして)、デジタルコンテンツを配信するためにサブミットすることができる。ユーザーが投稿ボタン1010をアクティブ化し、デジタ

10

20

30

40

50

ルコンテンツが第1のドメインの外部で配信されることを指示する配信に応答して、確認ダイアログがユーザーに対して表示されうる。

【 0 0 9 9 】

図10Bを特に参照すると、例示的な確認ダイアログ1020が提供される。例示的な確認ダイアログ1020は、デジタルコンテンツが第1のドメインの外部で配信され、アイコン1002、1004を表示し、結果として、第1のドメインの外部でデジタルコンテンツ配信が行われることになることをユーザーに通知する。確認ダイアログ1020は、チェックボックス1022、投稿ボタン1024、およびキャンセルボタン1026を備えることができる。チェックボックス1022は、デジタルコンテンツが第1のドメインの外部で配信されるという通知があるにもかかわらず、ユーザーがデジタルコンテンツの配信を進めるつもりであることを指示するためにユーザーによってアクティブ化されうる。図示されている例では、チェックボックス1022は、アクティブ化されない。その結果、投稿ボタン1024は、アクションを起こしえない(例えば、淡色表示になっている)。ユーザーがチェックボックス1022をアクティブ化した場合、投稿ボタン1024はアクション可能になり、ユーザーは投稿ボタンをアクティブ化して(例えば、クリックして)デジタルコンテンツを配信させることができる。

10

【 0 1 0 0 】

図11は、ユーザーがデジタルコンテンツを特定のドメイン内の連絡先ではない連絡先に配信することを禁止するドメインポリシーに対応しており、ソーシャルネットワーキングサービスのユーザーは、本明細書で詳しく説明されているように、デジタルコンテンツの配信を定める入力を配信インターフェース1100に送ることができる。1つまたは複数の連絡先および/または1つまたは複数のソーシャルサークルを、そのユーザー入力に基づき決定することができる。決定された連絡先および/またはソーシャルサークルは、本明細書で詳細に説明されているように、配信インターフェース1100内にグラフィカルに表現されうる。図11の例において、「Friends」アイコン1102は、配信を表現する。図示されている例において、この配信は、ソーシャルネットワーキングサービス内のユーザーによって確立されたFriendsソーシャルサークルに対応し、ソーシャルネットワーキングサービス(すなわち、第1のドメイン)内の連絡先である1つまたは複数の連絡先を含むことができる。

20

【 0 1 0 1 】

配信インターフェース1100へのユーザー入力は、第1のドメインの外部の1つまたは複数の連絡先を含む配信に対応するものとしてよい。例えば、ユーザーは、第2のドメインに対応する電子メールアドレスを入力することができる。図示されている例において、例示的な電子メールアドレスは、「johndoe@notdomain.com」として与えられ、これは、第2のドメイン内の電子メールサービスによって与えることができる。ACLサービスは、ユーザー入力を受信し、そのユーザー入力を処理して、電子メールアドレスが第1のドメインに対応していないと判定することができる。その結果、電子メールアドレスに対応するアイコンは、配信インターフェース1100内に表示されない。その代わりに、ACLサービスは、通知データを送り、配信が第1のドメインの外部にあるという通知をユーザーに対して表示することができる。図示されている例において、通知は、電子メールアドレスjohndoe@notdomain.comへの配信が禁止されていることを指示する吹き出し1104を備える。

30

40

【 0 1 0 2 】

いくつかの実装形態では、ドメインポリシーは、ソーシャルネットワーキングサービスのドメインの外部にある1つまたは複数のドメインにユーザーがデジタルコンテンツを配信することを可能にする一方で、ソーシャルネットワーキングサービスのドメインの外部にある1つまたは複数のドメインにデジタルコンテンツを配信することを禁止するハイブリッドドメインポリシーを含むことができる。

【 0 1 0 3 】

本明細書で説明されているドメインポリシーは、例示的なドメインポリシーであることは理解される。したがって、ACLサービスでは、ドメイン管理者によって確立されうる適切なドメインポリシーを強制することができる。

50

【0104】

図12は、1つまたは複数のポリシーを強制するための例示的なプロセス1200を示す流れ図である。例示的なプロセス1200は、1つまたは複数のコンピューティングデバイス上で実行される1つまたは複数のプログラムアプリケーションを使用して実施されうる。いくつかの実装形態では、1つまたは複数のサーバーシステム(例えば、図1のサーバーシステム112)および/または1つもしくは複数のクライアントコンピューティングデバイス(例えば、図1のクライアントデバイス102~110)は、例示的なプロセス1200の動作を実行することができる。

【0105】

ユーザー入力(1202)が送られる。例えば、ユーザー入力は、クライアントサイドコンピューティングデバイス上に備えられているグラフィカルユーザーインターフェース(例えば、配信インターフェース)に供給されうる。ユーザー入力を受信される(1204)。例えば、ユーザー入力は、1つまたは複数のサーバーサイドコンピューティングデバイスによって受信されうる。ユーザー入力は、デジタルコンテンツの配信先である1つまたは複数の連絡先を指示する配信を定めることができる。この配信は1つまたは複数のポリシーに基づき処理され(1206)、1つまたは複数のポリシーのそれぞれはデジタルコンテンツの配信に制限を課す。

【0106】

処理に基づき配信が1つまたは複数のポリシーのうちの少なくとも1つのポリシーに違反しているかどうか判定される(1208)。配信が1つまたは複数のポリシーのうちの少なくとも1つのポリシーに違反していないと判定された場合、例示的なプロセス1200は終了する。配信が1つまたは複数のポリシーのうちの少なくとも1つのポリシーに違反していると判定された場合、通知データが送信される(1210)。通知が表示される(1212)。例えば、クライアントサイドコンピューティングデバイスは、通知データを受信し、それに基づき通知を表示することができる。例示的なプロセス1200が終了する。

【0107】

いくつかの実装形態が説明された。しかしながら、本開示の精神および範囲から逸脱することなくさまざまな修正を加えることができることは理解されるであろう。例えば、上で示されている流れのさまざまな形態を、ステップの順序を変えて、追加して、または取り除いて使用することができる。したがって、他の実装形態は、添付の特許請求の範囲内に収まる。

【0108】

本開示の実装形態ならびに本明細書で取りあげられている機能的な動作のすべては、デジタル電子回路で、または本明細書で開示されている構造およびその構造的等価物を含むコンピュータソフトウェア、ファームウェア、もしくはハードウェアで、またはこれらのうちの1つまたは複数の組合せで実現することができる。本発明の実装形態は、1つまたは複数のコンピュータプログラム製品、すなわち、データ処理装置による実行のため、またはデータ処理装置の動作を制御するためにコンピュータ可読記録媒体において符号化されたコンピュータプログラム命令からなる1つまたは複数のモジュールとして実現することができる。コンピュータ可読記録媒体は、機械可読記憶装置デバイス、機械可読記憶装置基板、メモリデバイス、機械可読伝播信号を発生する組成物、またはこれらのうちの1つまたは複数の組合せとすることができる。「データ処理装置」という用語は、例えば、プログラム可能なプロセッサ、コンピュータ、または複数のプロセッサもしくはコンピュータを含む、データを処理するためのすべての装置、デバイス、および機械を包含する。装置は、ハードウェアに加えて、注目しているコンピュータプログラム用の実行環境を作成するコード、例えば、プロセッサファームウェア、プロトコルスタック、データベース管理システム、オペレーティングシステム、またはこれらのうちの1つまたは複数の組合せを構成するコードを含むものとしてよい。

【0109】

コンピュータプログラム(プログラム、ソフトウェア、ソフトウェアアプリケーション

10

20

30

40

50

、スクリプト、またはコードとしても知られる)は、コンパイル型言語またはインタプリタ型言語を含む、任意の形態のプログラミング言語で書かれ、スタンドアロンプログラム、またはモジュール、コンポーネント、サブルーチン、またはコンピューティング環境において使用するのに適している他のユニットを含む、任意の形態で配備されうる。コンピュータプログラムは、ファイルシステム内のファイルに必ずしも対応しない。プログラムは、他のプログラムもしくはデータ(例えば、マークアップ言語文書内に格納される1つまたは複数のスクリプト)を保持するファイルの一部に、注目するプログラム専用の単一ファイル内に、または複数の調整されたファイル(例えば、1つまたは複数のモジュール、サブプログラム、またはコードの一部を格納するファイル)に格納されうる。コンピュータプログラムは、1つのコンピュータ上で、または1つのサイトに配置されるか、または複数のサイトにまたがって分散され、通信ネットワークによって相互接続されている複数のコンピュータ上で実行されるように配置されうる。

10

【0110】

本開示で説明されているプロセスおよび論理の流れは、入力データを操作し、出力を生成することによって機能を実行するように1つまたは複数のコンピュータプログラムを実行する1つまたは複数のプログラム可能なプロセッサによって実行されうる。プロセスおよび論理の流れも、専用論理回路、例えば、FPGA(フィールドプログラマブルゲートアレイ)、またはASIC(特定用途向け集積回路)によって実行され、また装置も、専用論理回路、例えば、FPGA(フィールドプログラマブルゲートアレイ)、またはASIC(特定用途向け集積回路)によって実装されうる。

20

【0111】

コンピュータプログラムの実行に適しているプロセッサとしては、例えば、汎用マイクロプロセッサ、専用マイクロプロセッサの両方、および任意の種類デジタルコンピュータの任意の1つまたは複数のプロセッサが挙げられる。概して、プロセッサは、読み取り専用メモリまたはランダムアクセスメモリまたはその両方から命令およびデータを受け取る。コンピュータの不可欠な要素は、命令を実行するためのプロセッサならびに命令およびデータを格納するための1つまたは複数のメモリデバイスである。概して、コンピュータは、データを格納するための1つまたは複数の大容量記憶装置デバイス、例えば、磁気ディスク、磁気光ディスク、または光ディスクも備え、これらからデータを受け取るか、またはこれらにデータを転送するか、またはその両方を行うように動作可能なように結合される。しかし、コンピュータはこのようなデバイスを備える必要はない。さらに、コンピュータは、別のデバイス、例えば、2、3例を挙げると、携帯電話、携帯情報端末(PDA)、携帯オーディオプレーヤー、全世界測位システム(GPS)受信機に埋め込むことができる。コンピュータプログラムの命令およびデータを格納するのに適したコンピュータ可読記録媒体は、例えば、半導体メモリデバイス、例えば、EPROM、EEPROM、およびフラッシュメモリデバイス、磁気ディスク、例えば、内蔵ハードディスクまたはリムーバブルディスク、磁気光ディスク、ならびにCD-ROMおよびDVD-ROMディスクを含む、あらゆる形態の不揮発性メモリ、媒体、およびメモリデバイスを含む。プロセッサおよびメモリは、専用論理回路で補完されるか、または専用論理回路に組み込まれうる。

30

【0112】

ユーザーと情報のやり取りを行うために、本発明の実装形態は、ユーザーに情報を表示するための表示デバイス、例えば、CRT(陰極線管)またはLCD(液晶ディスプレイ)モニタ、ならびにユーザーがコンピュータに入力を送るために使用できるキーボードおよびポインティングデバイス、例えば、マウスもしくはトラックボールを有するコンピュータ上で行うことができる。他の種類のデバイスも、ユーザーと情報をやり取りするために使用することができ、例えば、ユーザーに返されるフィードバックは、任意の形態の感覚フィードバック、例えば、視覚フィードバック、聴覚フィードバック、または触覚フィードバックとすることができ、ユーザーからの入力、音響、話し声、または触覚入力を含む、任意の形態で受け取ることができる。

40

【0113】

50

本開示の実装形態は、バックエンドコンポーネントを、例えば、データサーバーとして備えるか、またはミドルウェアコンポーネント、例えば、アプリケーションサーバを備えるか、またはフロントエンドコンポーネント、例えば、ユーザーが本開示の実装形態をインタラクティブに操作するために使用することができるグラフィカルユーザーインターフェースまたはウェブブラウザを有するクライアントコンピュータを備えるコンピューティングシステムで、または1つまたは複数のそのようなバックエンド、ミドルウェア、またはフロントエンドコンポーネントの任意の組合せで実現することができる。システムのコンポーネントは、デジタルデータ通信の任意の形態または媒体、例えば、通信ネットワークによって相互接続することができる。通信ネットワークの例としては、ローカルエリアネットワーク(「LAN」)およびワイドエリアネットワーク(「WAN」)、例えばインターネットが挙げられる。

10

【0114】

コンピューティングシステムは、クライアントおよびサーバーを備えることができる。クライアントおよびサーバーは、概して、互いに隔てられており、典型的には、通信ネットワークを通じて情報のやり取りを行う。クライアントとサーバーとの関係は、コンピュータプログラムが各コンピュータ上で実行され、互いとの間にクライアント-サーバー関係を有することによって発生する。

【0115】

本開示は、多くの詳細事項を含んでいるが、これらは、本開示の範囲または請求内容の範囲に対する限定として解釈すべきではなく、むしろ本開示の特定の実装形態に特有の特徴の説明として解釈すべきである。別の実装形態の背景状況において本開示で説明されているいくつかの特徴も、単一の実装形態において組み合わせ提供されうる。逆に、単一の実装形態の背景状況において説明されているさまざまな特徴は、複数の実装形態で別々に、または好適な部分的組合せで提供することも可能である。さらに、上ではいくつかの特徴を特定の組合せで動作するものとして説明することができ、さらには最初にしたがって請求されうるが、請求されている組合せから得られる1つまたは複数の特徴は、場合によっては、組合せから切り取られ、また請求された組合せは、部分的組合せまたは部分的組合せの変更形態を対象とするものとすることもできる。

20

【0116】

同様に、動作は図面内に特定の順序で示されているが、これは、そのような動作が図示されている特定の順序で、または順番に実行されること、または全ての例示されている動作が、望ましい結果が得られるように実行されることを要求していると理解されるべきではない。いくつかの状況では、マルチタスクおよび並列処理が有利な場合もある。さらに、上述の実装形態においてさまざまなシステムコンポーネントが分離しているが、すべての実装形態においてそのような分離が必要とされていると理解されるべきではなく、また説明されているプログラムコンポーネントおよびシステムは、一般的に、単一のソフトウェア製品に一体化されうるか、または複数のソフトウェア製品にパッケージングされうることは理解されるであろう。

30

【0117】

HTMLファイルについて言及しているそれぞれの場合において、他のファイルタイプまたはファイル形式を代用できる。例えば、HTMLファイルは、XML、JSON、プレーンテキスト、または他のタイプのファイルで置き換えることができる。さらに、テーブルもしくはハッシュテーブルについて言及している場合、他のデータ構造(スプレッドシート、関係データベース、または構造化ファイル)を使用することができる。

40

【0118】

これで、本開示の特定の実装形態が説明された。他の実装形態は、添付の請求項の範囲内に収まる。例えば、請求項に記載のアクションは、異なる順序で実行することができ、それでも、所望の結果が得られる。

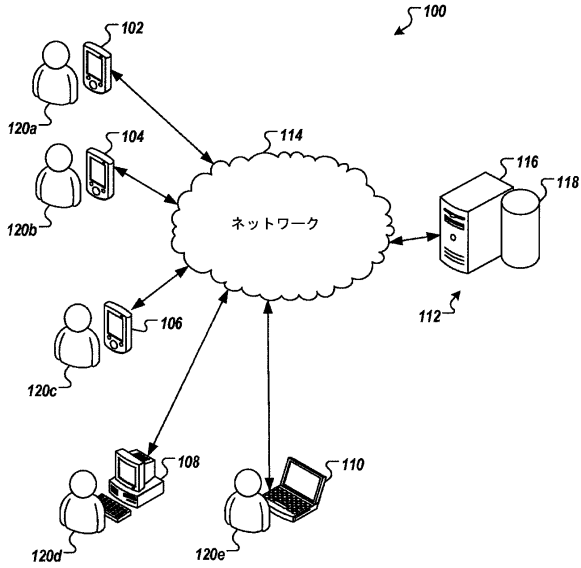
【符号の説明】**【0119】**

50

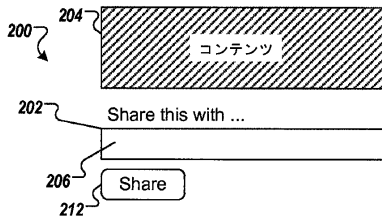
100	ネットワークアーキテクチャ	
102 ~ 110	クライアントデバイス	
112	サーバーシステム	
114	ネットワーク	
116	処理デバイス	
118	データストア	
120a ~ 120e	ユーザー	
200	コンテンツ共有インターフェース	
202	配信インターフェース	
204	コンテンツ領域	10
206	連絡先入力領域	
208	識別子アイコン	
210	削除コントロール	
212	共有ボタン	
213	メニュー	
214	追加コントロール	
220	メニュー領域	
222	ソーシャルサークル	
224	ユーザーコントロール	
230	メニュー領域	20
240	メニュー領域	
250	フリー形式テキスト	
260	メニュー領域	
262	「family」ソーシャルサークル	
264	「Francisco Franco」連絡先	
266	「Friendworks (Rob McDavies)」連絡先	
300	コンテンツ共有インターフェース	
305	コンテンツ入力領域	
305	コンテンツ入力領域	
310	ポインタ	30
315	アイコン	
320	アイコン	
325	アイコン	
330	アイコン	
340	配信インターフェース	
342	共有ボタン	
400	コンテンツ共有インターフェース	
405	コンテンツアイテム	
410	共有ボタン	
415	ポインタ	40
420	表示領域	
422a、422b	ユーザー	
450	識別子アイコン	
426	コンテンツ領域	
428	配信インターフェース	
430	共有ボタン	
432	コンテンツ入力領域	
434	コンテンツサマリー領域	
435	サムネイル画像	
436	サマリー	50

440	記事の短い説明	
450	識別子アイコン	
455	通知タイプインジケータ	
460	変更コントロール	
520	表示領域	
522	ユーザー	
525	コメント領域	
600	streamページ	
610	コンテンツ共有インターフェース	
614	配信インターフェース	10
620	識別子アイコン	
622	識別子アイコン	
624	削除コントロール	
626	削除コントロール	
630	電子メール共有コントロール	
682	電子メール共有コントロール	
684	電子メールカウントインジケータ	
700	ウェブページ	
710 ~ 730	検索結果	
740	共有ボタン	20
750	共有ボタン	
760	共有ボタン	
780	サンドバー	
782	共有リンク	
800	地図ページ	
805	コンテンツ共有インターフェース	
810	地図空間	
815	表示領域	
820	ズームレベル	
825	URL	30
900	プロセス	
1000	配信インターフェース	
1002	「Anyone」アイコン	
1004	「Soccer Club」アイコン	
1006	「Friends」アイコン	
1008	吹出し	
1010	投稿ボタン	
1020	確認ダイアログ	
1022	チェックボックス	
1024	投稿ボタン	40
1026	キャンセルボタン	
1100	配信インターフェース	
1102	「Friends」アイコン	
1104	吹出し	
1200	プロセス	

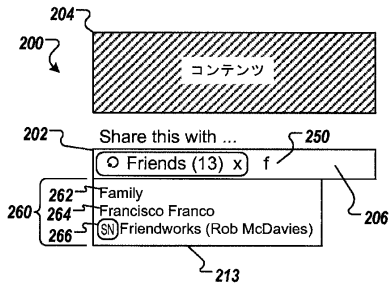
【図 1】



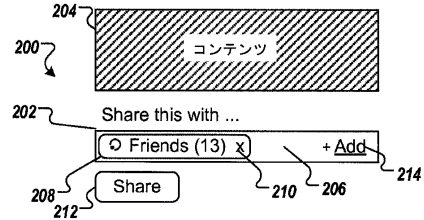
【図 2 A】



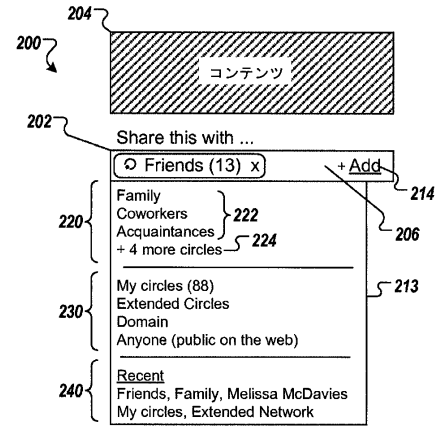
【図 2 D】



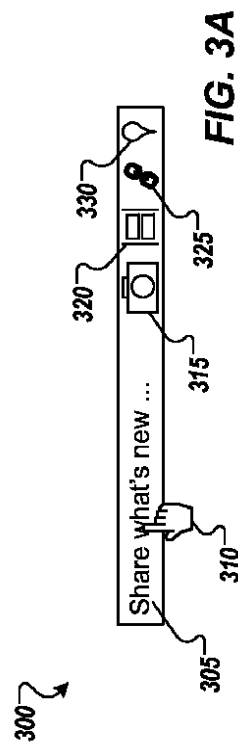
【図 2 B】



【図 2 C】



【図 3 A】



【 図 3 B 】

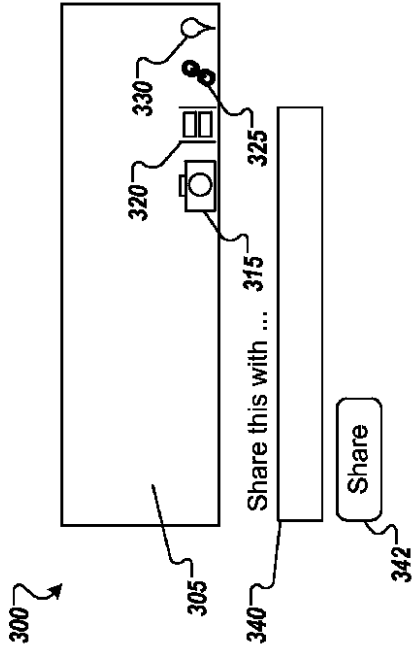
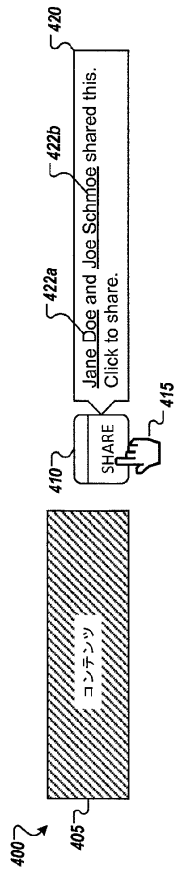


FIG. 3B

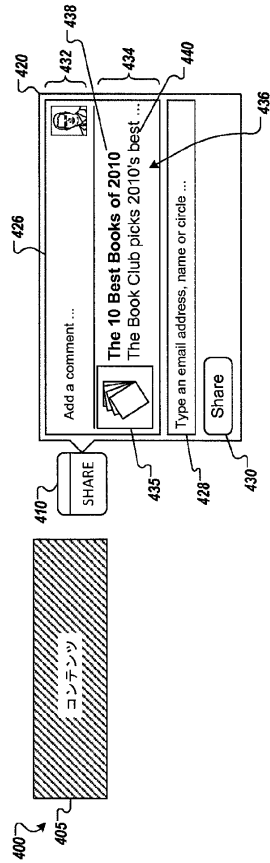
【 図 4 A 】



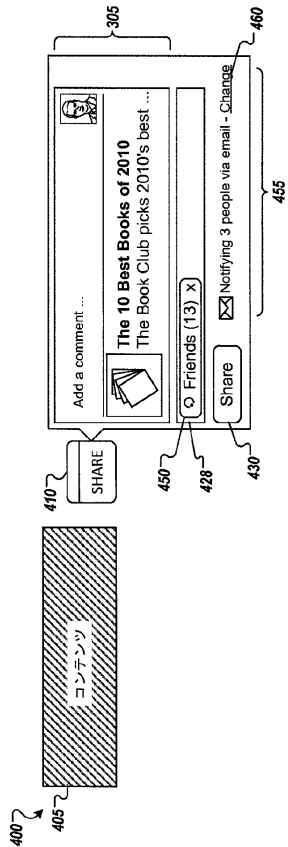
【 図 4 B 】



【 図 4 C 】



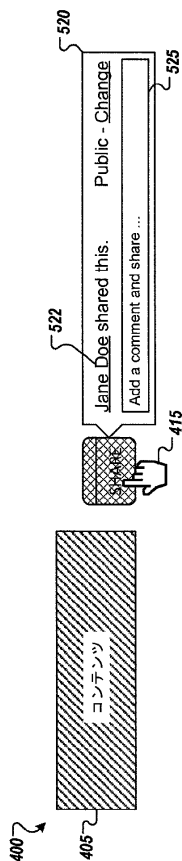
【 4 D 】



【 5 A 】



【 5 B 】



【 6 A 】

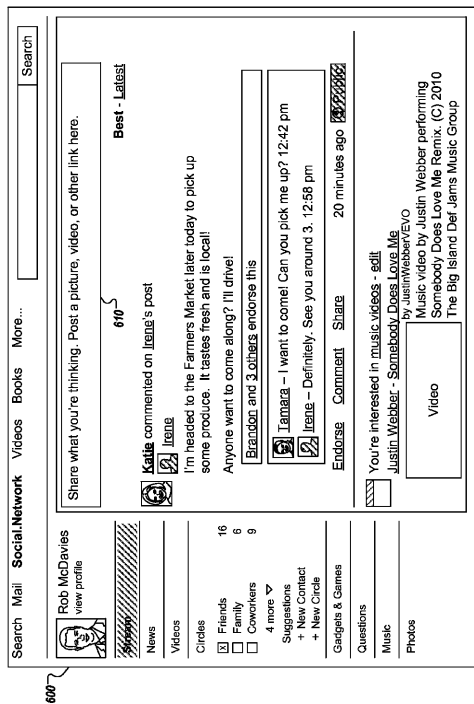


FIG. 6A

【 6 B 】

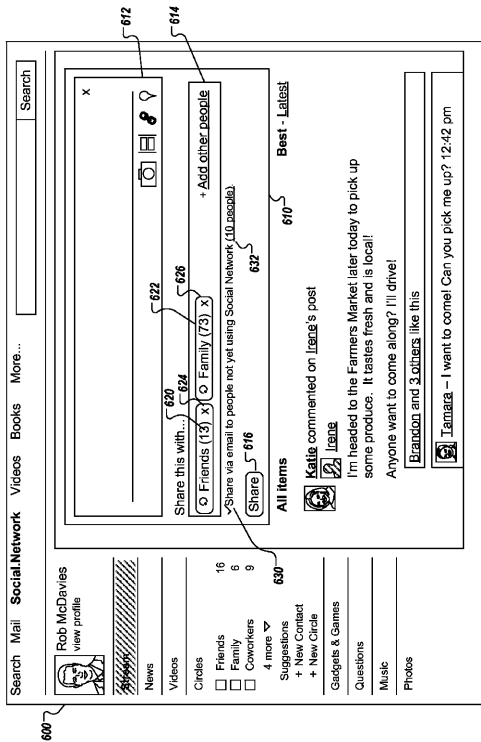


FIG. 6B

【 7 】

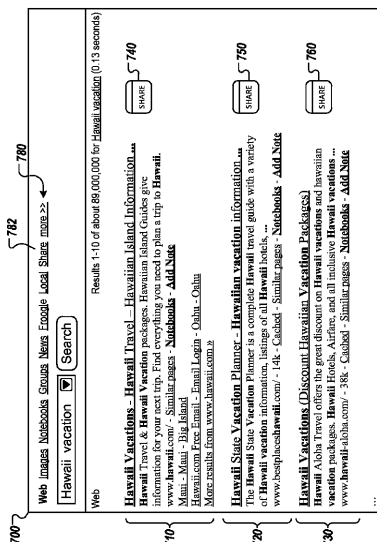


FIG. 7

【 8 】

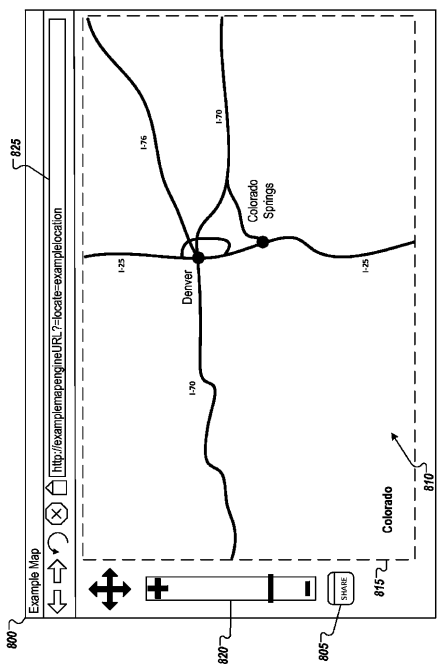
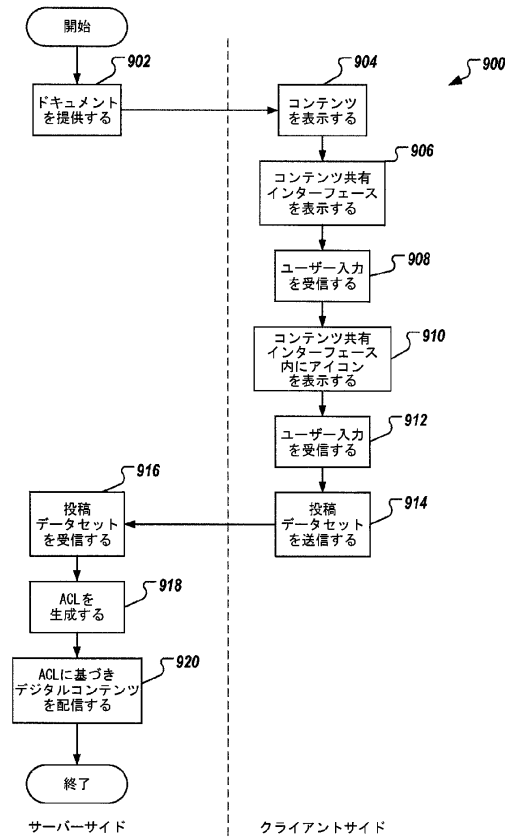


FIG. 8

【 9 】



【図10A】

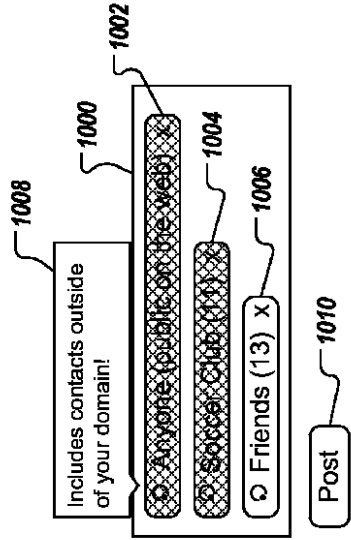


FIG. 10A

【図10B】

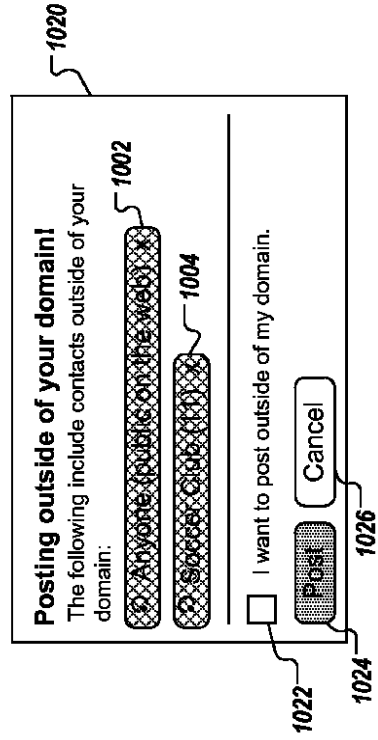


FIG. 10B

【図11】

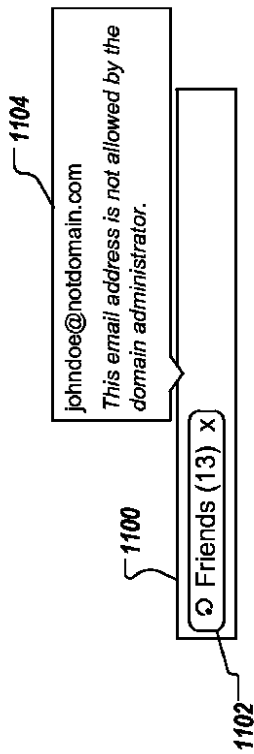
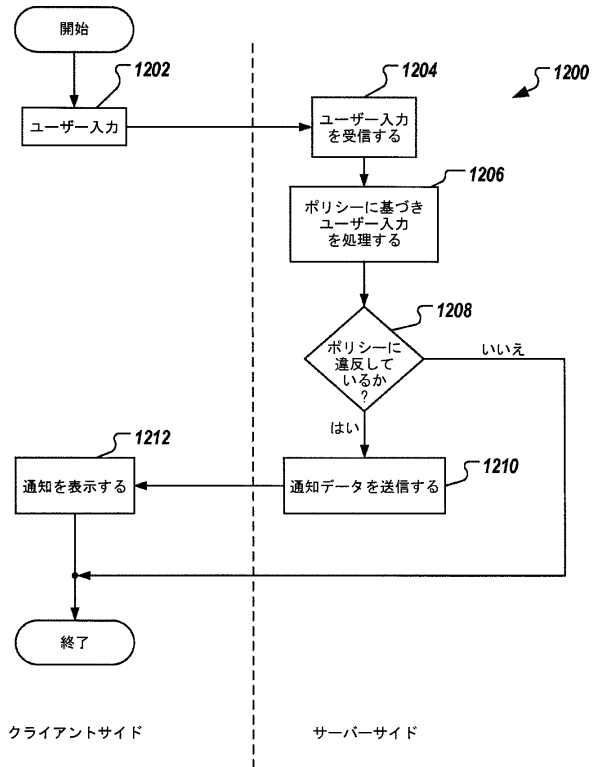


FIG. 11

【図12】



クライアントサイド

サーバーサイド

フロントページの続き

- (72)発明者 リタ・チェン
アメリカ合衆国・ニューヨーク・11375・フォレスト・ヒルズ・グランド・セントラル・パークウェイ・61-20
- (72)発明者 シムリット・ベン・ヤイール
アメリカ合衆国・カリフォルニア・94087・サニーヴェール・フラミンゴ・ウェイ・1460
- (72)発明者 ジョナサン・ターレスキー
アメリカ合衆国・カリフォルニア・94041・マウンテン・ビュー・ブッシュ・ストリート・279・アパートメント・2
- (72)発明者 ジョセフ・スマール
アメリカ合衆国・カリフォルニア・94019・ハーフ・ムーン・ベイ・ポートラ・アヴェニュー・618
- (72)発明者 ガレット・エフ・ボイヤー
アメリカ合衆国・カリフォルニア・95014・クパチーノ・パークウッド・ドライブ・10244・アパートメント・5

審査官 佐々木 洋

- (56)参考文献 特表2013-536637(JP,A)
特表2009-522696(JP,A)
特表2013-539568(JP,A)
特表2013-535035(JP,A)
特表2013-520720(JP,A)
特表2013-543187(JP,A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
G06F 13/00